

**2022年度
滋賀県がん患者
アンケート調査
結果報告**

2023年3月



滋賀県がん患者団体連絡協議会

はじめに

生涯で二人に一人ががんにかかると推測される現在。滋賀県では2019年の全国がん登録の情報によると年間11,000人の県民ががんに罹患しています。一方で、がん医療は年々研究が進み、進歩を遂げ、『がん=死』から、がんは長く付き合う病気になってきています。

国では2007年4月に「がん対策基本法」が施行され、同年6月に「がん対策推進基本計画」が閣議決定されました。

滋賀県では、2013年12月に「滋賀県がん対策の推進に関する条例」が施行されました。2008年度に第1期「滋賀県がん対策推進計画」を策定。2018年度策定の第3期計画には、基本理念「県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀の実現～県民が、がんを知り、がんを予防し、がんになっても納得した医療・支援が切れ目なく受けられ、自分らしく暮らせる滋賀を目指して～」を掲げ、全ての県民ががん対策の主役である認識のもとに進んでいます。

全体目標は、以下の3つが掲げられています。

- ①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- ②患者本位のがん医療の実現
- ③尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築

これまで医療体制の整備や社会的支援等が進められてきましたが、滋賀県のがん患者さんが、果たして納得した医療や支援を切れ目なく受けられ、自分らしく暮らせているのか、ということ把握しないと、がん対策がうまくいっているのか、力を入れないといけないところはどこかがわからない。すなわち、がん患者さんの実情を捉えることが必要と考えました。そこで、計画を策定してから10年が経過した2019年度に、第1回「滋賀県がん患者アンケート調査」を滋賀県と滋賀県がん患者団体連絡協議会で実施しました。今回は第2回の調査となります。今後のがん対策の基礎資料として、第3期計画の中間評価において、調査結果を緩和ケアの質に関する評価指標として設定されることになりました。

調査にあたっては、13か所の滋賀県のがん診療病院（都道府県がん診療連携拠点病院・地域がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・滋賀県がん診療連携支援病院）のご理解とご協力を得て、各病院の倫理委員会の承諾を得て行いました。分析にあたっては、滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門にご依頼しました。

調査票を返信いただいた数は989部(回収率54.9%)でした。滋賀県のがん患者さんの一部ですが、生の声です。今回の報告書では、調査結果をカテゴリー別に、2022年度の結果を2019年度と比較、併せてクロス集計の結果、そして自由記載(医療機関に対して、行政に対して、コロナ禍における受診や治療などにおいて感じられたこと)にお寄せいただいたお一人おひとりのお声を満足(感謝)・不満・不安・要望・その他で分類し、がん対策に沿ったカテゴリーとそれ以外を独自に分類しました。

最後に、本調査にご協力いただきました患者、ご家族の皆様、病院の皆様に感謝いたします。

令和5年3月

滋賀県がん患者団体連絡協議会
会長 菊井 津多子

はじめに

目次

調査の概要	p.01
-------	------

基本情報

記入者・性別・年齢・診断時期	p.02
----------------	------

がんの種類と治療	p.03
----------	------

ステージ・転移・再発	p.05
------------	------

転院・現在の状況	p.06
----------	------

課題別の結果

療養情報の情報源	p.07
----------	------

必要な情報・セカンドオピニオン	p.09
-----------------	------

妊孕性（にんようせい）の温存	p.10
----------------	------

思いに沿った治療・医師への質問	p.11
-----------------	------

知りたかった情報	p.12
----------	------

心の状態・からだの痛み	p.13
-------------	------

苦痛の相談・対応・緩和ケア	p.13
---------------	------

心配等の支援・相談支援センター・がん患者サロン	p.15
-------------------------	------

在宅療養で必要なこと	p.16
------------	------

就労状況・職場等の理解・治療のための休暇	p.17
----------------------	------

治療のための退職等	p.18
-----------	------

生活上の困難に関する情報・就労支援相談会	p.19
----------------------	------

がん登録	p.20
------	------

納得した医療・自分らしい生活	p.21
----------------	------

滋賀県に力を入れてほしいがん対策	p.22
------------------	------

自由記入欄

自由記入欄について	p.23
-----------	------

自由記入欄（医療機関に対して）	p.24
-----------------	------

自由記入欄（行政に対して）	p.37
---------------	------

自由記入欄（コロナ禍における受診や治療などにおいて感じられたこと）	p.46
-----------------------------------	------

【報告集計にあたっての注意点】

- ・ 病院ごとに回答者数も異なり、数値の意味合いも異なるため、解析は全体をまとめて行いました。
- ・ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。
- ・ 全体の回答者数と当該の質問に適切に回答された人数が異なる場合があるため、各質問項目に有効な回答をしていただいた方の総数を母数として、項目ごとの回答構成比率を示しました。
- ・ いくつかのページにはクロス集計表があります。クロス集計とは、データを有効に活用するために行う集計方法の一つです。質問と質問を掛け合わせて、データの回答傾向や関係性を見つけることができます。

1) 調査目的

滋賀県在住で県内の地域がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・滋賀県がん診療連携支援病院に入院または通院する18歳以上のがん患者に対して、受療状況、暮らしや医療に対する満足度やがん医療に関する認知度などの項目を質問紙法（アンケート調査）によって収集し、滋賀県のがん患者の実情を明らかにすることで、県が取り組むべき課題を明確化し、具体的な対策に役立てること、また、県内のがん患者の姿をまとめ、公表することで、県民の「がん」への関心と理解を深めることを目的とする。

2) 実施主体

滋賀県
滋賀県がん患者団体連絡協議会

3) 調査協力病院

地域がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・滋賀県がん診療連携支援病院
※13病院中、倫理審査会の承認が必要とされた4病院については、審査会での承認を得て実施した。

4) 調査方法

- ・無記名アンケート調査
- ・各病院に入院または通院しているがん患者に対して、医師または看護師が、滋賀県がん患者調査事業の協力を依頼し、調査票と返信用封筒が入った封筒を配布する。
- ・調査票を受け取ったがん患者は、調査票に記入し、同封の返信用封筒により、調査票を郵送する。
- ・返信用封筒の宛先は滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課とした。

5) 調査期間

2022年(令和4年)10月から11月末日（消印有効12月末日まで）

6) 調査対象者

調査協力病院に通院または入院している18歳以上の滋賀県在住のがん患者

7) 調査票配布・回収数

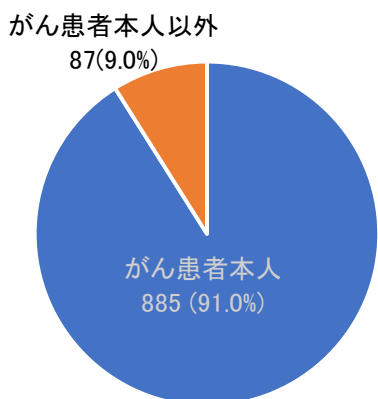
	2022年	2019年
事前配布数	2,070	2,060
実配布数	1,803	1,853
回収数	989	950
回収率(回数数/実配布数)	54.9%	51.3%

基本情報

記入者・性別・年代

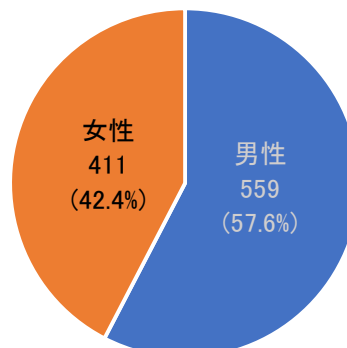
(質問) 記入者はどなたですか【○はひとつだけ】

n=972



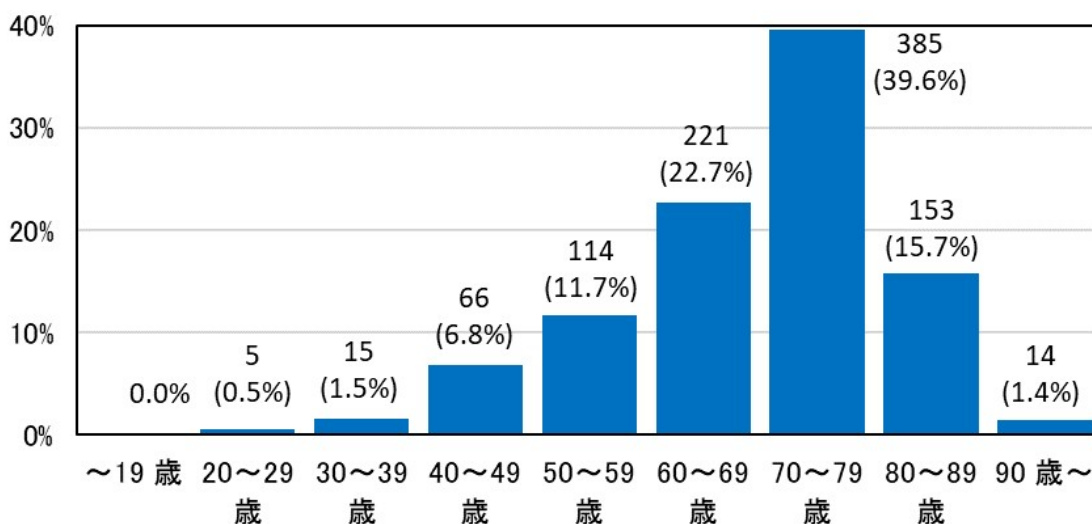
(質問) 患者さんの性別をお答えください

n=970



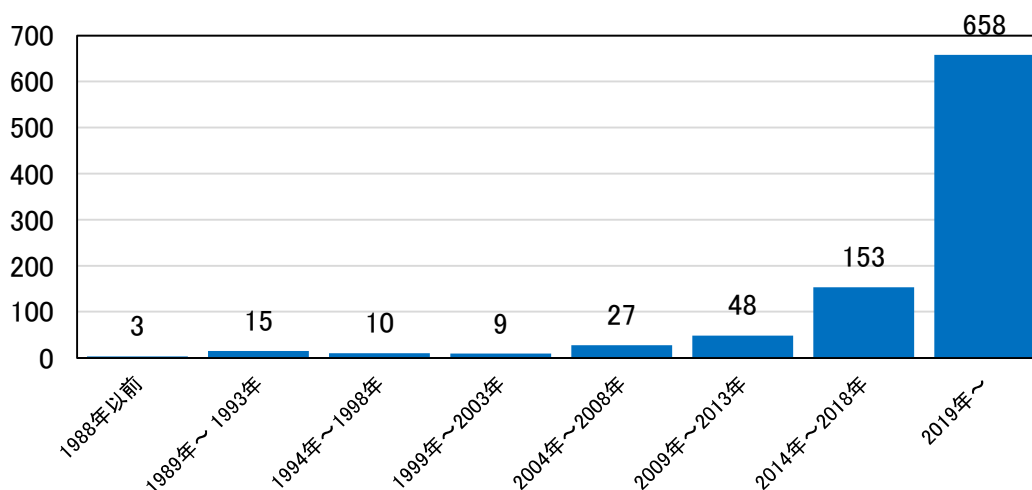
(質問) 患者さんご本人の現在の年齢は、何歳ですか。【○はひとつだけ】

n=973



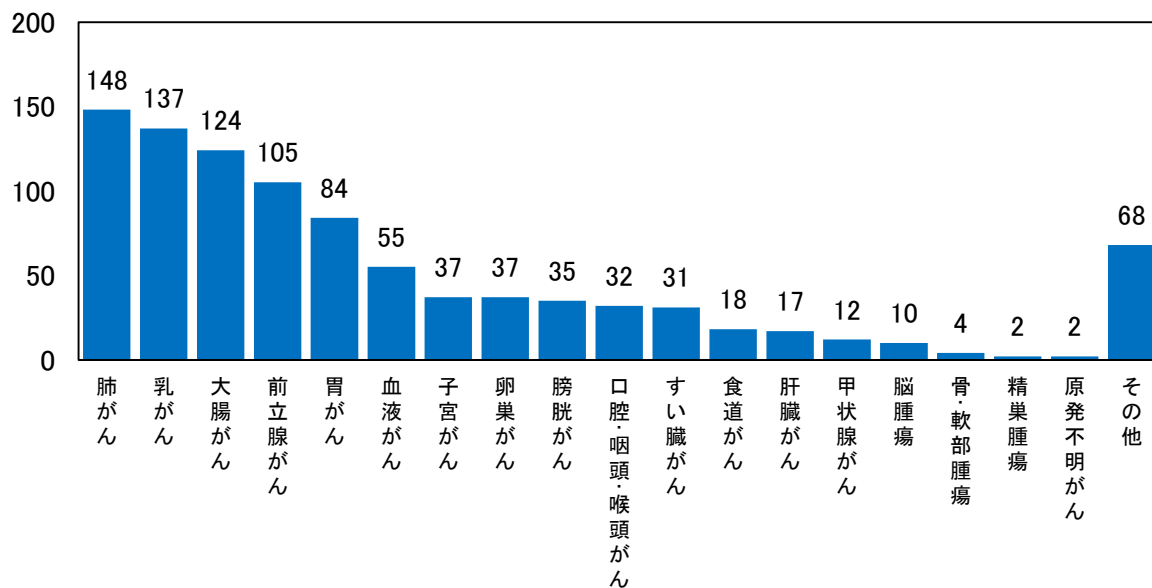
(質問) がんと最初に診断されたのは、いつ頃ですか。

n=923



(質問) 最初に何がんと診断されましたか。【○はひとつだけ】

n=958



「その他」の記載には、選択肢になかった「皮膚がん」「腎臓がん」の回答が多かった。次回の調査では、選択肢に追加する。

(質問) がんと診断されてからこれまで受けたがん治療を教えてください。【○はいくつでも】

n=965

	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	965		803
回答			
手術	590	61.1%	67.6%
内視鏡治療	134	13.9%	15.4%
化学療法	594	61.6%	59.2%
ホルモン療法	116	12.0%	15.8%
放射線治療	307	31.8%	27.9%
治療していない	25	2.6%	0.7%
わからない	6	0.6%	0.5%
その他	40	4.1%	—

クロス集計

がん種と治療法のクロス集計である。がんの治療はがん種、ステージなどによっても異なる。全ステージをまとめて集計しているため、どなたにもその治療法が当てはまるわけではないことに注意して見てほしい。

がん種毎の受けた治療種類	実数	手術	内視鏡	化学療法	ホルモン療法	放射線	治療なし	不明	複数種類の治療	
									実数	%
肺がん	148	71	11	111		46	1		78	52.7%
乳がん	137	119	1	93	60	86	1		117	85.4%
大腸がん	124	93	38	89	1	15	3	2	81	65.3%
前立腺がん	105	34	7	14	47	53	4		47	44.8%
胃がん	84	46	21	38	1	6	3	1	26	31.0%
悪性リンパ腫・白血病・多発性骨髄腫	55	6	1	48		10	4	1	15	27.3%
子宮がん	37	30	2	23		9	1		23	62.2%
卵巣がん	37	33	1	35	1	4	1	1	32	86.5%
膀胱がん	35	23	16	10	1	4	1		17	48.6%
口腔・咽頭・喉頭がん	32	23	3	20		25	1		27	84.4%
すい臓がん	31	14	10	27		2			19	61.3%
食道がん	18	10	6	13	1	9			13	72.2%
肝臓がん	17	8	4	11		1	1	1	8	47.1%
甲状腺がん	12	9		2		5	1		4	33.3%
脳腫瘍	10	8		6		8			8	80.0%

(質問) 診断された時のがんの進行度(ステージ)をお答えください。【〇はひとつだけ】 n=949

	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	949		785
回答			
0期	49	5.2%	4.7%
I期	195	20.5%	22.4%
II期	168	17.7%	16.4%
III期	160	16.9%	17.1%
IV期	205	21.6%	19.2%
わからない	172	18.1%	20.1%

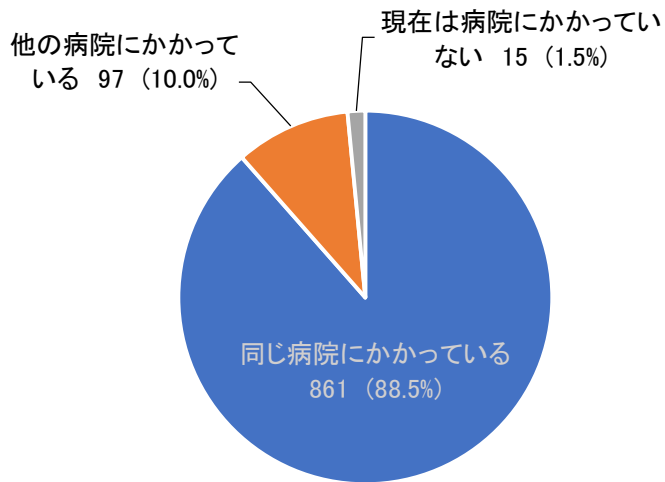
(質問) 診断された時のがんの転移の有無をお答えください。【〇はひとつだけ】 n=968

	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	968		799
回答			
転移あり	252	26.0%	23.8%
転移なし	610	63.0%	63.7%
わからない	106	11.0%	12.5%

(質問) がんの再発の有無をお答えください。【〇はひとつだけ】 n=951

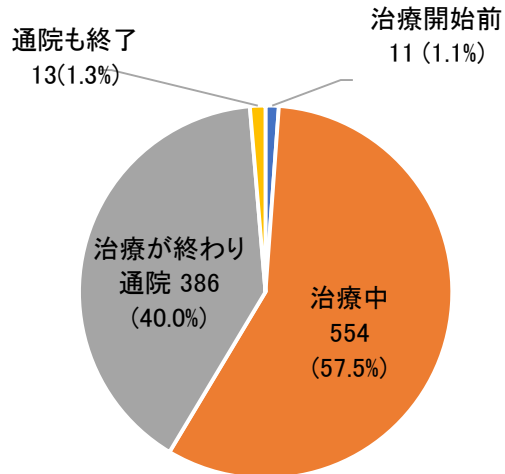
	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	951		781
回答			
再発あり	227	23.9%	24.5%
再発なし	459	48.3%	48.3%
わからない	265	27.9%	26.4%

(質問) 最初にがんの治療(または経過観察)のためにかかった病院に現在もかかっていますか。 n=973



(質問) 現在のがんの治療状況を教えてください。【○はひとつだけ】

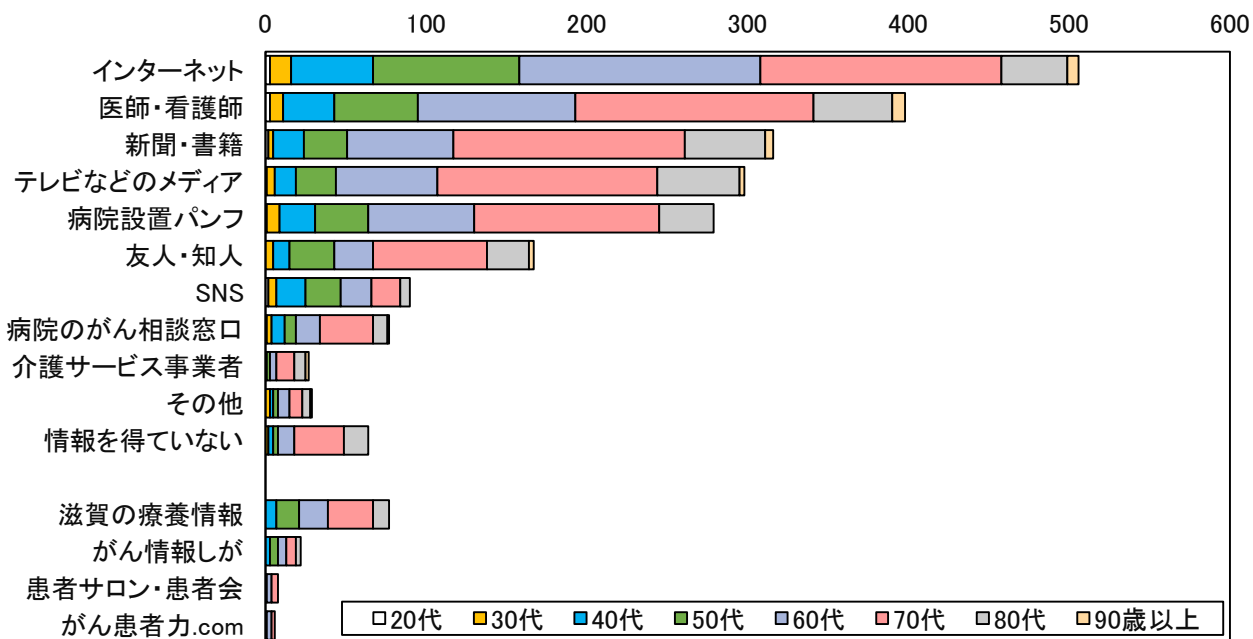
n=964



課題別の結果

療養情報の情報源

(質問) がん医療の情報やがんの療養情報を何から得ていますか。【〇はいくつでも】 n=952



	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	952		785
回答			
インターネット	507	53.3%	44.1%
医師・看護師	398	41.8%	49.7%
新聞、書籍	319	33.5%	39.5%
テレビなどのメディア	300	31.5%	43.8%
病院設置のパンフレット	280	29.4%	31.3%
友人・知人	168	17.6%	18.0%
SNS	90	9.5%	—
病院のがん相談窓口	79	8.3%	8.5%
ケアマネージャー等介護サービス事業者	27	2.8%	1.7%
その他	30	3.2%	1.3%
情報を得ていない	64	6.7%	5.1%

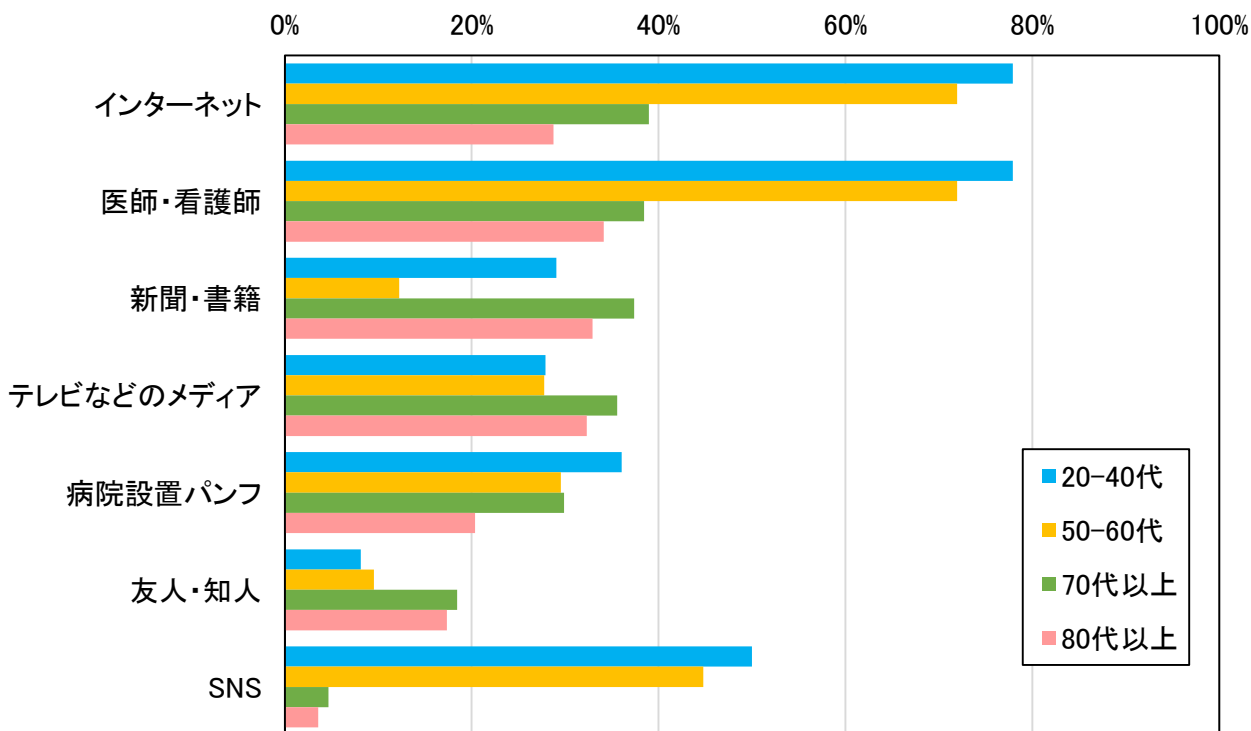
【滋賀県のがんに関する情報発信事業】

滋賀の療養情報	78	8.2%	6.0%
がん情報しが	22	2.3%	1.3%
患者サロン・患者会	8	0.8%	—
がん患者力.com※ (滋賀県がん患者団体連絡協議会サイト)	6	0.6%	0.9%

※2023年4月より名称変更「がんとともに生きるあなたへ」

クロス集計

療養情報を得ている先、上位7つについて、4つの年齢層別に割合を示した。



「その他」に「家族」と記載した回答が多く、次回の調査では、選択肢に追加する。2019年と比べて、「インターネット」からと答えた人の割合が増え、「医師・看護師」と答えた人を上回った。スマートフォンの普及により、インターネットからの情報を得やすい環境が進んだためではないかと思われる。今回選択肢に加えたSNSを含め、前回との大きな違いを感じる。表下部には、滋賀県のがんに関する情報発信事業を集めた。滋賀県作成の冊子「滋賀の療養情報」と答えた人が微増している。病院によっては患者に手渡ししていると聞いているので、その影響があるかもしれない。またクロス集計から、20代～40代、50代～60代の世代では、様々な手段により、より積極的に情報を得ていることがうかがえる。

課題別の結果

必要な情報・セカンドオピニオン

(質問) 「がん治療」を決めるまでの間、医師、看護師、他のスタッフは、治療について、あなたが欲しいと思った情報を提供しましたか。【○はひとつだけ】 n=927

全体	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	927		770
回答			
十分提供してくれた	694	74.9%	73.8%
提供してくれたが不十分だった	116	12.5%	13.4%
全くなかった	10	1.1%	2.2%
わからない	107	11.5%	10.6%

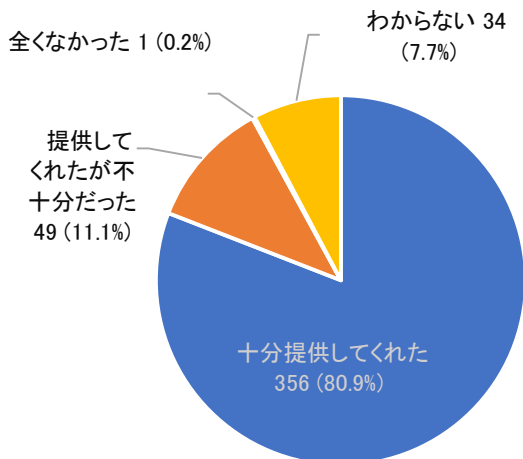
(質問) がん治療が始まる前、治療中にはほかの医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」を受けられることについて担当医から説明はありましたか。【○はひとつだけ】 n=938

全体	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	938		769
回答			
説明があり、受けた	85	9.1%	8.3%
説明があったが、受けていない	367	39.1%	40.7%
説明はなかったが、質問して受けた	32	3.4%	4.4%
説明はなかった	336	35.8%	34.7%
わからない	118	12.6%	11.8%

クロス集計 セカンドオピニオンの説明があった人となかった人で、治療について医療者からの情報提供に対する感じ方にどのような差があったかを示した。

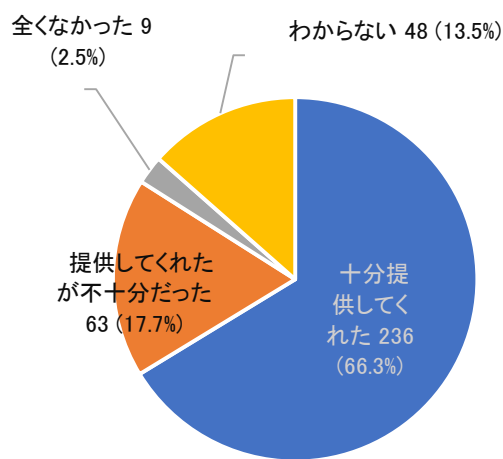
【説明があった群】(n=440)

「説明があり、受けた」
「説明があったが、受けていない」



【説明がなかった群】(n=356)

「説明はなかったが、質問して受けた」
「説明はなかった」

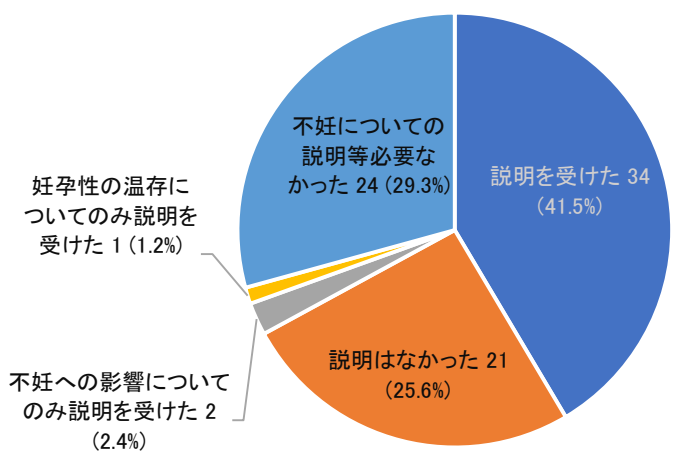


「治療を決めるまでに医療者より欲しい情報を十分に得られた」と感じている人は7割強で、2019年とほぼ変わりがなく、2割強の人は、「十分でない」「わからない」と答えている。セカンドオピニオンについても、2019年と同じく約4割の人が説明を受けていないと答えている。「説明があった」群と「説明がなかった」群で分けると、説明があった群では、8割もの人が「情報は十分に提供された」と感じている。「情報提供が十分だった」と答えた人の中でも3割はセカンドオピニオンの説明がなかったが、知っていればセカンドオピニオンを受けたかもしれない。全ての人に必要な情報が十分に提供されることが大切だと感じる。

課題別の結果
妊孕性（にんようせい）の温存

(質問) 最初のがん治療が開始される前に、その治療による不妊への影響や妊孕性（にんようせい）の温存について、医師から説明を受けましたか。【○はひとつだけ】 n=82

クロス集計 50歳未満の患者さんへの妊孕性の説明の有無を示した。



50歳未満 回答	2022年		2019年
	実数	比率	比率
説明を受けた	34	41.5%	31.8%
説明はなかった	21	25.6%	39.4%
不妊への影響についてのみ説明を受けた	2	2.4%	7.6%
妊孕性の温存についてのみ説明を受けた	1	1.2%	0.0%
不妊についての説明等必要なかった	24	29.3%	21.2%

2019年の調査に比べて、「説明を受けた」と答えた人が1割程度増えた。だが、依然として、4人に1人は「説明はなかった」と答えている。自由記載記入欄(医療機関に対して)には「妊よう性保存対象者に対して、主治医がもっと理解を深めて」という意見も見られた。説明を受けた人が増えているからこそ、残念である。治療が開始される前に、該当する全ての人に確実に丁寧な説明が行き届くことを願う。

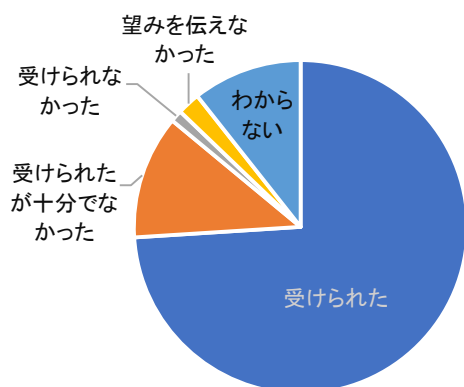
課題別の結果

思いに沿った治療・医師への質問

(質問) 診断や治療、支援の中で、あなたの望み(思い)にそった治療等を受けられましたか。

【○はひとつだけ】

n=958

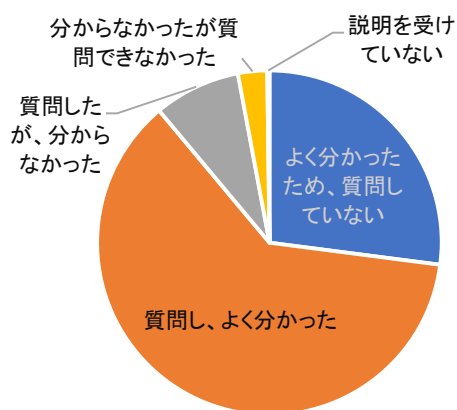


全体	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	958		790
回答			
受けられた	709	74.0%	73.7%
受けられなかった	115	12.0%	11.8%
受けられなかったが十分でなかった	11	1.1%	1.3%
望みを伝えなかった	21	2.2%	2.2%
わからない	102	10.6%	11.1%

(質問) 診断や治療方針について、医師等に分からなかった事等質問できましたか。

【○はひとつだけ】

n=958



全体	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	958		793
回答			
よく分かったため、質問していない	259	27.0%	25.7%
質問し、よく分かった	593	61.9%	62.4%
質問したが、分からなかった	78	8.1%	8.8%
分からなかったが質問できなかった	26	2.7%	2.6%
説明を受けていない	2	0.2%	0.4%

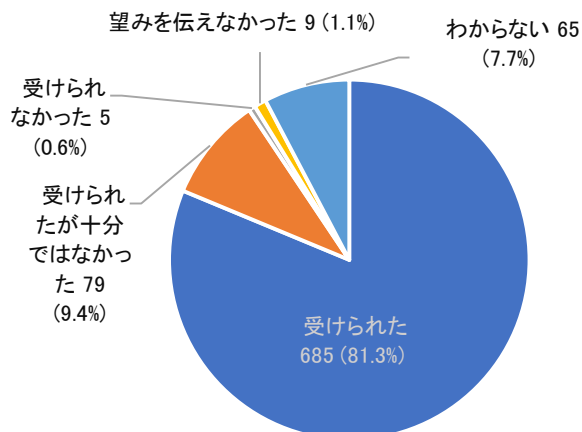
クロス集計

治療や診断方針についてわかった人とわからなかった人について、望み(思い)に沿った治療を受けられたかどうかを示した。

【わかった群】(n=843)

「よくわかったため質問していない」

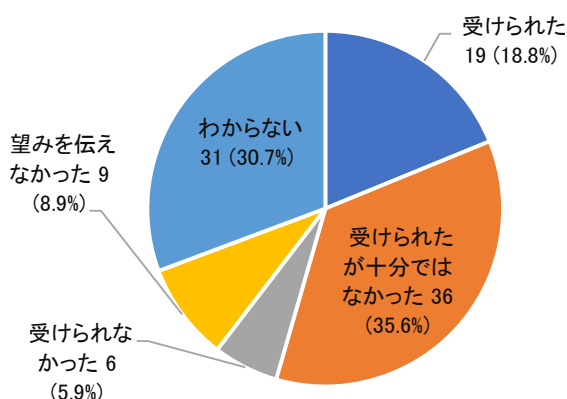
「質問しよくわかった」



【わからなかった群】(n=101)

「質問したが、分からなかった」

「分からなかったが質問できなかった」



「望み（思い）にそった治療を受けられた」と答えた人は2019年、2022年とも7割以上いる。望み（思い）にそった治療を受けるためには、医療者との関係は大切なポイントの一つと考えられる。「医師等に分からなかった事等質問できたか」の回答で、「質問し、よく分かった」人が6割強、「よく分かったため、質問していない」人と合わせると9割の人はよく分かったと答えている。分かった群と分からなかった群を比較すると、分かった群で「受けられた」と答えた人が8割を超えているのに比べて、分からなかった群では受けられた人は2割弱で歴然とした差がある。「質問したが、よく分からなかった」「分からなかったが質問できなかった」のはなぜだろうか。自由記載の中には、「高齢者で説明がよく聞こえない、わからない」「コロナ禍なので医師がマスク・フェイスガードなどで、私難聴なので、うまくコンタクトが取れなかった」といった意見も見られた。診断や治療方針についての理解を高め、思いに沿った治療を受けるためには、医療者、患者双方の理解の確認が必要ではないか。

課題別の結果

知りたかった情報

(質問) あなたが知りたかったがんに関する情報や知っておきたかった情報の中で情報提供が十分ではないと思われる情報についてあてはまるものをお答えください。【〇はいくつでも】 n=809

全体 回答	2022年		2019年
	実数	比率	比率
がんの治療方法	348	43.0%	32.2%
病院の診療体制や治療について	262	32.4%	26.4%
緩和ケアについて	119	14.7%	11.6%
がん治療にかかる費用について	321	39.7%	35.0%
経済的支援や利用できる社会保障制度など	223	27.6%	23.0%
自宅での療養生活について	150	18.5%	13.6%
がん治療と仕事、学業との両立について	70	8.7%	7.5%
治療に伴う後遺症や障害について	207	25.6%	—
副作用について	285	35.2%	27.6%
脱毛などアピアランスについて	103	12.7%	10.0%
妊孕性（にんようせい）の温存について	8	1.0%	—
がんの病態や統計データなど	73	9.0%	7.1%
その他	49	6.1%	5.0%

2019年と比べほとんどの項目で比率が上がっている。その他記載内容では「情報提供は十分だった」との記載も多く見られたが、どの項目についても「十分ではない」と感じた患者が増えている。特に、今回選択肢に追加した、「治療に伴う後遺症や障害について」は「脱毛などアピアランスについて」と関連し、4人に1人が十分でなかったと答えている。説明されていたかもしれないが、話を聞いたことと実際に起こったことの感じ方にはギャップがあるかもしれない。がんの治療法（病院の診療体制も含め）やその費用、副作用、そして後遺症や障害についてよく知りたかったという意見も多く、患者のニーズにあったより充実した情報提供が必要だ。

課題別の結果

心の状態・からだの痛み

(質問) 治療前や治療時の心の状態やからだの痛み等の苦痛についてお聞かせください。

【〇はいくつでも】

n=960

全体	2022年		2019年
	実数	比率	比率
回答			
からだに苦痛や痛みがあった	349	36.4%	30.7%
痛み以外にからだの症状があった	351	36.6%	39.3%
不安や気持ちが辛いことがあった	465	48.4%	46.1%
生活上の心配があった	224	23.3%	24.8%
痛みや不安、心配はなかった	212	22.1%	22.0%
わからない	25	2.6%	2.9%

患者は、がんと診断された時からさまざまな不安と向き合う。「からだに苦痛や痛みがあった」や「痛み以外にからだの症状があった」、さらに「不安や気持ちが辛いことがあった」をあわせると、4人に3人は何かしら、あるいは複数の不安や苦痛を抱えている。時間がたつにつれて解消されることもあるだろうが、緩和ケアは治療前から必要なケアであることがよくわかる。早期からの緩和ケアがしっかり機能することを願う。

課題別の結果

苦痛の相談・対応・緩和ケア

(質問) 身体や心の痛み、落ち込みのある時に医師等や病院スタッフに相談できましたか。

【〇はひとつだけ】

n=939

全体	2022年		2019年
	実数	比率	比率
回答			
相談できた	501	53.4%	54.2%
相談できたが十分でなかった	130	13.8%	14.7%
相談できなかった	90	9.6%	6.9%
相談する必要はなかった	218	23.2%	24.2%

(質問) 身体や心の痛み、落ち込みのある時に医師等や病院スタッフが対応等(緩和ケア等)をしてくれましたか。【〇はひとつだけ】

n=911

全体	2022年		2019年
	実数	比率	比率
回答			
対応してくれた	506	55.5%	55.5%
対応してくれたが十分ではなかった	135	14.8%	15.0%
対応してくれなかった	34	3.7%	3.6%
対応は必要なかった	236	25.9%	25.8%

クロス集計

身体や心の痛みを相談できなかった人が、医療者の対応を十分だったと感じているかどうかを示した。

身体や心の痛み、落ち込みのある時に医師等や病院スタッフが対応(緩和ケア)等をしてくれましたか	身体や心の痛み、落ち込みのある時に医師等や病院スタッフに相談できましたか			
	対応してくれた	対応してくれたが十分ではなかった	対応しなかった	対応は必要がなかった
相談できた	422	33	1	34
相談できたが十分ではなかった	37	74	10	5
相談できなかった	19	27	23	9
相談する必要がなかった	21	1	0	188

半数を超える人が、体や心の痛み、落ち込みのある時に医師等や病院スタッフに「相談できた」、身体や心の痛み、落ち込みのある時に医師等や病院スタッフが「対応してくれた」と答えており、その数は2019年とあまりかわらない。その一方で、「相談できなかった」し「対応しなかった」と答えている人が23人いる。なぜ相談できなかったのだろうか。患者が声を上げなければ届かないと感じる反面、「相談する必要がなかった」のに「対応してくれた」と答えている人がいることを考えると、日ごろの信頼関係や話し合える関係性をどう築くか、医療者、患者双方が考える必要があるのではないか。

課題別の結果

心配等の支援・相談支援センター・がん患者サロン

(質問) がんと診断されたことによる心配や悩みは、何らかの支援によって軽減されたと思いますか。

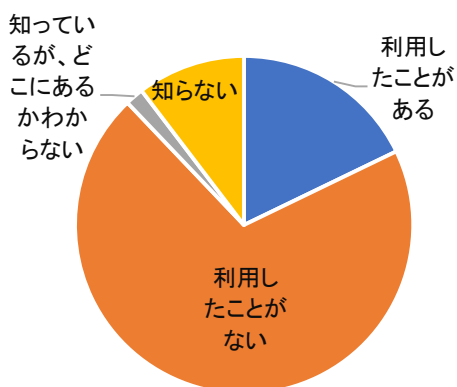
【○はいくつでも】

n=939

	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	939		779
回答			
医師・看護師・薬剤師の支援	614	65.4%	63.0%
相談支援センターの支援	70	7.5%	5.6%
がん患者サロンに参加して	7	0.7%	0.9%
患者団体など他の患者との交流	17	1.8%	3.9%
家族や友人の支援	430	45.8%	52.4%
SNSなどの利用	39	4.2%	—
そう思わない	75	8.0%	6.0%
わからない	123	13.1%	11.9%

(質問) がん診療連携拠点病院等内に設置されている「がん相談支援センター」やがん診療連携支援病院

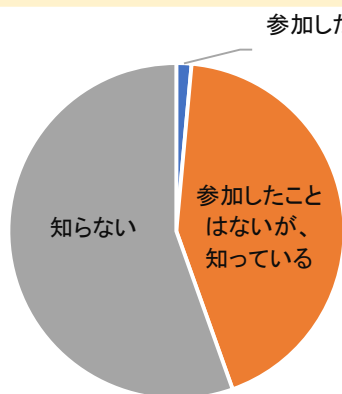
に設置されている「がん相談窓口」等を利用したことがありますか。【○はひとつだけ】 n=939



	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	965		795
回答			
利用したことがある	172	17.8%	20.3%
利用したことがない	676	70.1%	70.8%
知っているが、どこにあるかわからない	17	1.8%	1.1%
知らない	100	10.4%	7.8%

(質問) 「がん患者サロン」があることを知っていますか。【○はひとつだけ】

n=965



	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	965		797
回答			
参加したことがある	14	1.5%	3.4%
参加したことはないが、知っている	416	43.1%	57.1%
知らない	535	55.4%	39.5%

がんによる心配や悩みが医療者によって軽減された人は6割強、家族や友人が4割強と大半を占める。2019年に比べ、医療者や相談支援センターの支援によってがんの心配や悩みが軽減された人の割合が増えている。一方、家族や友人の支援は減っており、コロナ禍で支援を受けにくい状況であったのではないかと考えられる。今回新しく選択肢に追加した「SNSの利用」は、状況に限らず今後も増えるであろう。また、患者サロンや他の患者との交流会はコロナ禍でほとんど開催されなかったため利用できず、知らない人の割合も増えた。心配や悩みの支援として、多様な方法があることをもっと知らせていく必要がある。

課題別の結果

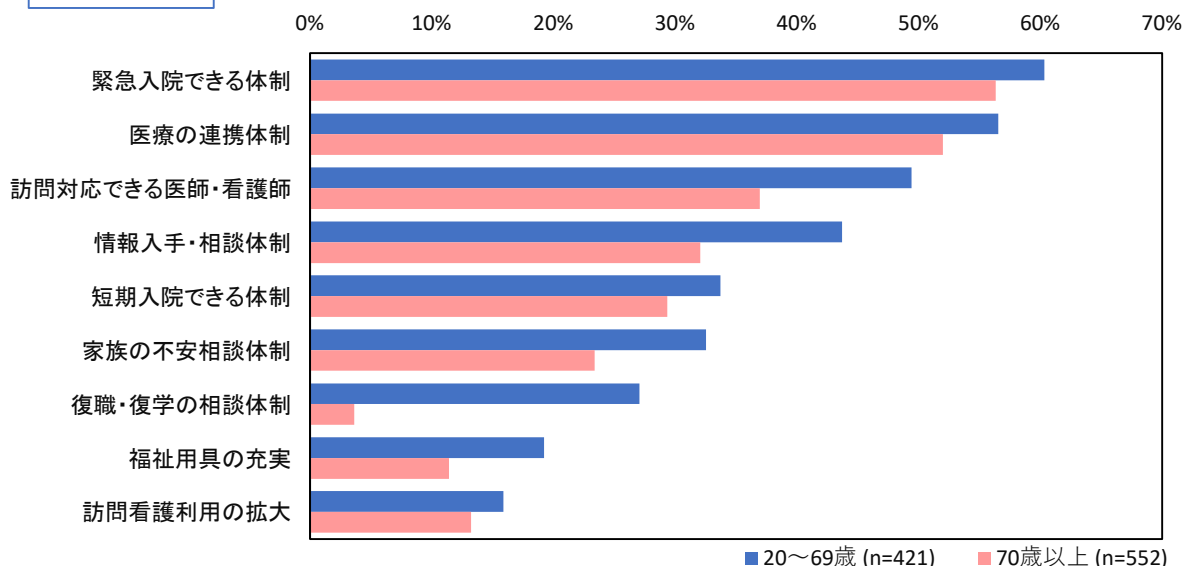
在宅療養で必要なこと

(質問) 安心して自宅で療養するために必要なことは、何だと思えますか。【〇はいくつでも】 n=940

全体	2022年		2019年
	940		778
回答	実数	比率	比率
病院・かかりつけ医・訪問看護の連携体制	528	56.2%	56.2%
体調悪化時に緊急入院できる体制	568	60.4%	53.1%
体調悪化時に訪問、対応してくれる在宅医や訪問看護師	415	44.1%	39.1%
在宅医療に関し情報入手や相談できる体制	363	38.6%	36.5%
復職・復学・就労に対して相談できる体制	134	14.3%	—
家族の不安(心のケア)を相談できる体制	269	28.6%	29.6%
家族の負担軽減のため患者が短期入院できる体制	306	32.6%	35.0%
訪問看護の利用の拡大	143	15.2%	14.1%
車いすやベッドなど福祉用具の充実	145	15.4%	14.1%
わからない	69	7.3%	8.1%
その他	28	3.0%	3.9%

クロス集計

20～69歳群と70歳以上群を比較をした。



「体調悪化時に緊急入院できる体制」「体調悪化時に訪問、対応してくれる在宅医や訪問看護師」と答えた人がともに増えた。がんにかぎらず、「超高齢社会」「老々介護」「独居老人」といった言葉が浮かんでくる。コロナ禍での療養、在宅看取りが増えたことも関係あるのではないかと。高齢者でなくとも、一人暮らしでがんとともに生きる人は少なくない。急に体調が悪くなった時に備えるためにも「在宅医療に関し情報入手や相談できる体制」は大切だ。今回回答項目として「復職・復学・就労に対して相談できる体制」を入れた。クロス集計でもわかるように、年代によって関心の高さがはっきりと違う。また、その他の記載内容には経済的支援を望む声も多い。

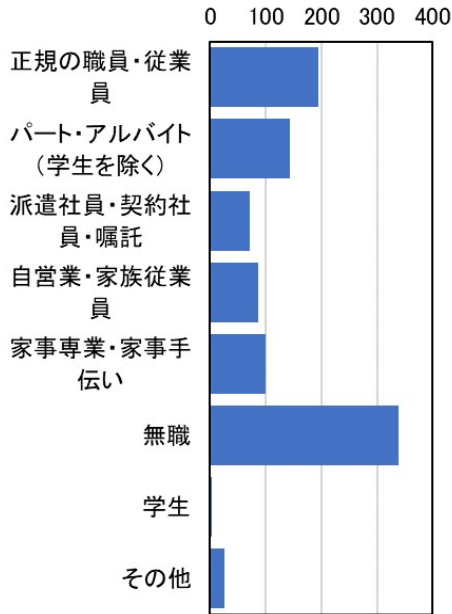
課題別の結果

就労状況・職場等の理解・治療のための休暇

(質問) がんと最初に診断された時の、患者さんご本人の就労状況等について教えてください。

【〇はひとつだけ】

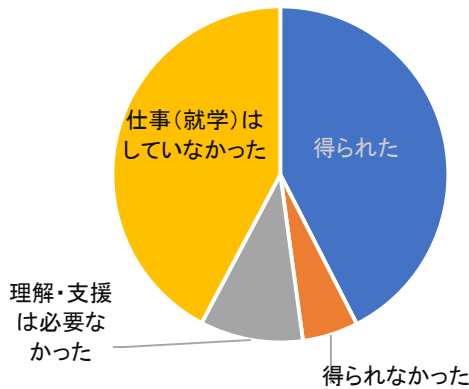
n=962



	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	962		797
回答			
正規の職員・従業員	195	20.3%	18.6%
パート・アルバイト (学生を除く)	144	15.0%	12.8%
派遣社員・契約社員・嘱託	71	7.4%	5.5%
自営業・家族従業員	86	8.9%	11.5%
家事専業・家事手伝い	100	10.4%	12.3%
無職	339	35.2%	36.3%
学生	2	0.2%	0.3%
その他	25	2.6%	2.8%

(質問) がん診断され、検査や治療が進む中、仕事(学業)の継続に対する事業主(学校)の理解・支援は得られましたか。【〇はひとつだけ】

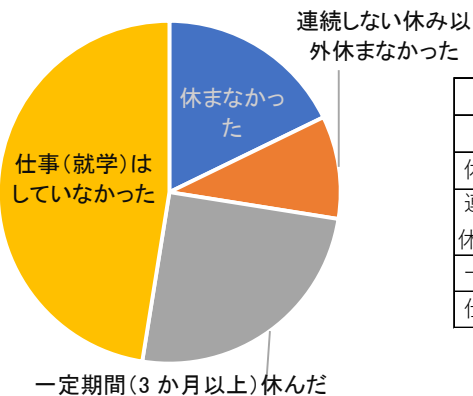
n=857



	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	857		715
回答			
得られた	364	42.5%	41.1%
得られなかった	46	5.4%	4.2%
必要なかった	85	9.9%	11.3%
仕事(就学)はしていなかった	362	42.2%	43.4%

(質問) がん初めて治療・療養した時、一定期間(連続して3か月以上)仕事(学校)を休みましたか。【〇はひとつだけ】

n=855

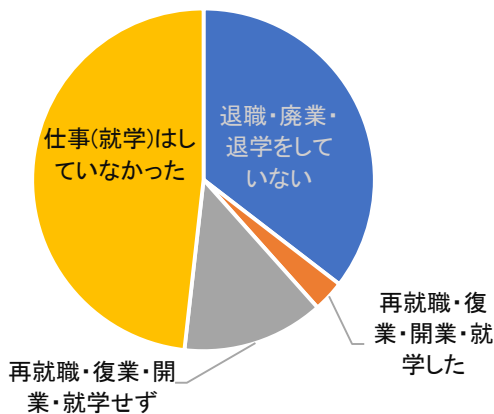


	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	855		719
回答			
休まなかった	152	17.8%	18.2%
連続しない休み(1日や半日の休み等)以外休まなかった	83	9.7%	10.6%
一定期間(3か月以上)休んだ	214	25.0%	20.7%
仕事(就学)はしていなかった	406	47.5%	50.5%

(質問) がん治療・療養のための退職・廃業・退学の有無について教えてください。

【〇はひとつだけ】

n=906



全体	2022年		2019年
	実数	比率	比率
回答	906		757
退職・廃業・退学をしていない (休職・休業・休学を除く)	321	35.4%	34.2%
退職・廃業・退学し、現在は再就職・復業・開業・就学した	27	3.0%	4.0%
退職・廃業・退学し、現在も再就職・復業・開業・就学せず	121	13.4%	10.3%
仕事(就学)はしてなかった	437	48.2%	51.5%

クロス集計

就労状況別に、事業主(学校)の理解・支援を得られたか、休業期間があったか、退職・廃業・退学の有無を示した。

就労状況と継続に対する理解・支援	正規雇用 (n=195)	非正規雇用、自営 (n=301)	家事専業、無職、学生 (n=441)
得られた	85.1%	60.8%	1.1%
得られなかった	7.2%	10.3%	0.2%
必要なかった	6.7%	16.9%	3.6%
仕事(就学)はしてなかった	0.5%	5.0%	76.9%

就労状況と治療・療養時の休業	正規雇用 (n=195)	非正規雇用、自営 (n=301)	家事専業、無職、学生 (n=441)
休まなかった	32.8%	26.6%	0.9%
連続せずに休んだ(1日や半日)	18.5%	14.3%	0.5%
一定期間連続して休んだ(3か月以上)	44.6%	40.2%	0.5%
仕事(就学)はしてなかった	1.5%	11.6%	80.7%

就労状況と退職・廃業・退学	正規雇用 (n=195)	非正規雇用、自営 (n=301)	家事専業、無職、学生 (n=441)
退職・廃業・退学をしていない (休職・休業中・休学を除く)	78.5%	52.5%	0.7%
退職・廃業・退学をしたが、現在は再就職・復業・開業・就学している	4.1%	5.6%	0.2%
退職・廃業・退学をして、現在も再就職・復業・開業・就学していない	11.8%	30.2%	1.1%
仕事(就学)はしてなかった	2.6%	6.6%	89.1%

今や働きながら、あるいは学びながらと向き合う人は少なくない。働く世代の4割が非正規雇用といわれ、自営業、フリーランスなど働くかたちは様々だ。クロス集計を見ると、正規雇用者とその他の状況にある人では理解や支援に差のあることがわかる。働きたい、学びたい人すべてにとって、治療と仕事や学業との両立が可能な社会になることを望む。

課題別の結果

生活上の困難に関する情報・就労支援相談会

(質問) 生活上の困難（経済的なこと、就労、就学のことなど）に関して情報提供や相談支援を受ける場合、どのような点について充実を望みますか。【○はいくつでも】 n=870

全体	2022年		2019年
	870		707
回答	実数	比率	比率
医療機関における相談支援体制の充実	419	48.2%	49.9%
職場（学校）における相談支援体制の充実	158	18.2%	17.7%
行政機関（労働局や県など）における相談支援体制の充実	262	30.1%	30.4%
行政機関が発信する情報提供サイトの充実	125	14.4%	15.4%
行政機関が発行する情報冊子の充実	91	10.5%	11.5%
医療機関と職場・学校との連携の推進	107	12.3%	—
特に充実は望まない	42	4.8%	3.5%
情報提供や相談支援を受ける必要はない	35	4.0%	6.4%
わからない	208	23.9%	22.3%
その他	16	1.8%	—

生活上の困難に関して「医療」「職場」「学校」「行政」での情報提供や相談支援をたずねた。今回新たな回答項目である「医療機関と職場・学校との連携の推進」は、1割強となった。全体の結果を見ると、この3つの連携に行政が加わることでよりよい情報提供や相談支援ができるのではないかと期待したい。

(質問) 県内の病院で実施している、がん患者を対象とした社会保険労務士による就労相談やハローワークによる個別相談会、両立支援促進員による個別相談会を知っていますか。【○はひとつだけ】

n=904

全体	2022年		2019年
	904		743
回答	実数	比率	比率
参加したことがある	8	0.9%	0.8%
知っているが必要ではない	140	15.5%	20.9%
知らない	756	83.6%	78.3%

病院内の両立支援について、知らないと答えた人が8割を超えている。2019年の調査時点では、両立支援を行っている病院はまだ少なかった。2022年、支援を行う病院は増え、働く患者さんも増えている。その割に知られていないのはなぜだろうか。必要な人に情報の届くシステムづくりが必要ではないか。

課題別の結果

がん登録

(質問) あなたは、「がん登録」について知っていましたか。【〇はひとつだけ】 n=948

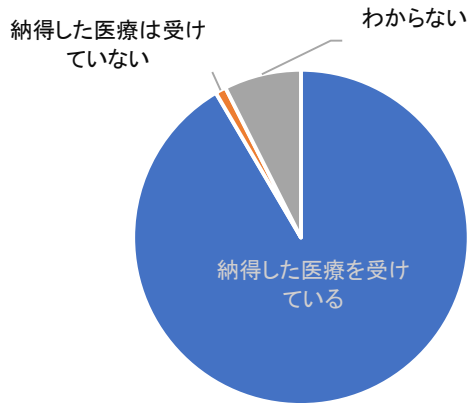
	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	948		786
回答			
知っている	45	4.7%	5.9%
言葉だけは知ってる	86	9.1%	11.5%
知らない	817	86.2%	82.7%

今回も「知らない」が圧倒的に多い結果となった。「がん登録」の意義やがん対策への活用等の有用性を広めていくことが必要ではないか。「がん登録」という制度を知ってもらうことは、データの信頼性や情報の客観性に対する理解を深めるためにも役立つと考える。

課題別の結果

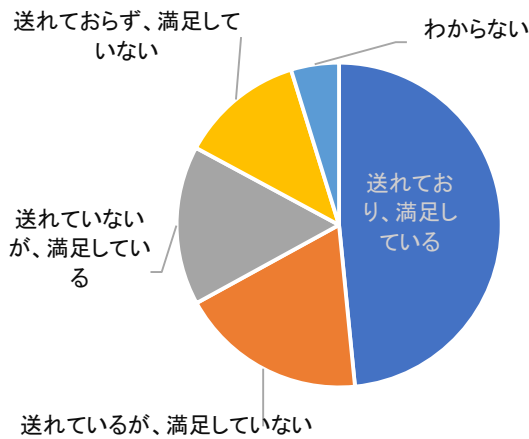
納得した医療・自分らしい生活

(質問) がんと診断された時から、治療について納得した医療を受けていますか。【〇はひとつだけ】 n=969



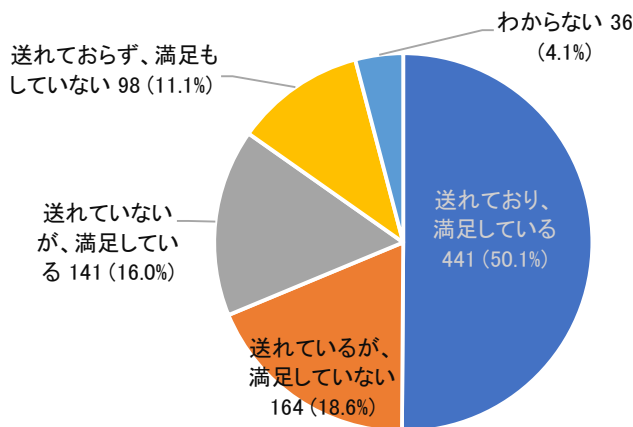
	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	969		799
回答			
納得した医療を受けている	887	91.5%	91.9%
納得した医療を受けていない	10	1.0%	1.0%
わからない	72	7.4%	7.1%

(質問) がんと診断された時から、自分らしい日常が送れていますか。【〇はひとつだけ】 n=964



	2022年		2019年
	実数	比率	比率
全体	964		794
回答			
送れており、満足している	467	48.4%	54.5%
送れているが、満足していない	179	18.6%	14.7%
送れていないが、満足している	153	15.9%	18.9%
送れておらず、満足していない	119	12.3%	7.6%
わからない	46	4.8%	4.3%

クロス集計 「納得した医療を受けている」と回答した人が、自分らしい日常を送れているかどうかを示した。



「納得した医療を受けている」と答えた人の割合は9割を超えており、2019年と2022年でほとんど変化がない。多くの人は、「がんと診断された時から自分らしい生活が送れ、治療にも納得している」と答えている。しかし、「納得した医療を受けている」と答えた人のうち3割の人が「自分らしい生活を送れていない」「生活に満足していない」と答えている。治療後、元の生活に戻る人ばかりではないが、今の自分に折り合いをつけ受け入れている場合もあるだろう。治療前に副作用や後遺症についての説明が十分にあったらどうか、問題があるとき医療者などに相談できたらどうか気になるところである。

(質問) がん対策について、滋賀県としてどういったことに力を入れてほしいと思いますか。

【〇はいくつでも】

n=940

全体 回答	2022年		2019年
	実数	比率	比率
がん予防（たばこ対策などの生活習慣病対策も含む）	244	26.0%	27.8%
がんの早期発見（がん検診）	590	62.8%	66.2%
がん治療	404	43.0%	42.0%
がんに関する専門的医療従事者の育成	360	38.3%	37.7%
がん医療に関わる医療機関の整備（拠点病院の充実など）	385	41.0%	43.1%
がんに関する情報の提供	220	23.4%	26.8%
がんに関する相談やその支援	284	30.2%	29.0%
緩和ケア	225	23.9%	20.6%
在宅医療・在宅療養体制の充実	267	28.4%	5.9%
がん登録	67	7.1%	6.7%
がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備	241	25.6%	25.5%
子どもに対するがんに関する教育	97	10.3%	11.6%
がんによって就学が困難になった際の相談・支援体制の整備	134	14.3%	—
特にない	41	4.4%	3.8%
その他	31	3.3%	—

※上記の表中、2019年のデータの中で色付けした部分について、2019年度版報告書では数値が間違っていました。お詫びして訂正します。

その他の回答としては、「経済的な支援」「医療機関の整備」が多く、「若い世代のがんの悩み」「がん登録後のデータ公開は、全ての部位で」「がん体験談会などを通して友好活動が出来たら良いと思います」という意見もあった。全体で見れば、コロナ禍がいくつかのデータに影響を与えていると考えられる。「がんの早期発見(がん検診)」は、5%近く減った。検診を受けにくかったため、むしろ関心が薄くなった面があるのではないか。また大きく変化があったのは「在宅医療・在宅療養体制の充実」(5.9%→28.4%)と「緩和ケア」(20.6%→23.9%)である。コロナ禍当初は、緩和ケア病棟の閉鎖もあいついだ。患者の高齢化、長期療養が増えたことも関係があるかもしれない。今後高齢化が進むにつれ、がんに限らず関心の高まる項目であろう。医療だけでなく、患者が情報にアクセスしやすく利用しやすい体制の充実を望む。

自由記入欄

自由記入欄について

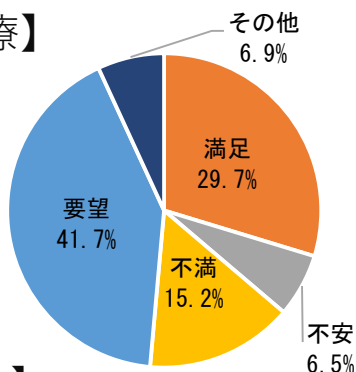
医療 243件、行政 189件、コロナ禍については202件が寄せられました。その中には、医療関係者、行政関係者の皆様への感謝の言葉が多数寄せられました。ひとつひとつが貴重なご意見です。ありがとうございました。

寄せられたご意見を「満足・不安・不満・要望・その他」に分類しました。それらについて、医療と行政については、県のがん対策4つの分野と取り組みで意見を細かく分類しました。それでは不足と思われるものは、独自の項目を追加しています。コロナ禍については独自で分類しました。

医療、行政ともに、「病院、設備やそのシステムについて(独自)」「情報提供の充実」が多く要望として寄せられました。医療では、「医療者(独自)」「インフォームドコンセント(独自)」「医療面の強化」「がんと診断された時からの緩和ケア」、行政では突出して「経済、生活について」のご意見がありました。仕事と生活の両立支援についても増えました。コロナ禍については、多くの方が事情は承知し感謝もしているが「面会できない」つらさをつづられています。

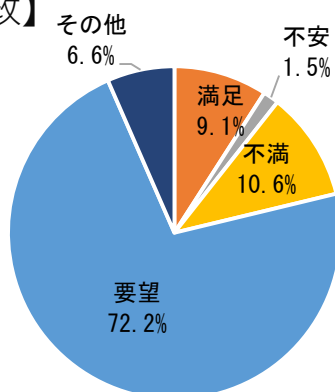
近年、患者さんは新しい治療法や薬剤から多くの恩恵を受けられるようになっていきます。早期発見・早期治療なら負担が少なく済むこともあります。反面、いただいたご意見から、がんの状況によっては治療が長引き、治療にまつわる出費や心身への影響など問題も少なくないことを実感しました。

【医療】



要望として多かった「インフォームドコンセント」「情報提供の充実」から、医療者と患者の知りたいことにずれがあるのではないかと、あるいは伝わっていないのではないかと感じました。「がんと診断された時からの緩和ケア」を実現するためにもコミュニケーションは大きな課題だと考えられます。「情報提供の充実」は、HPやSNSの利用が増えた一方まだパンフレットなどの直接届ける伝え方も必要だと感じました。

【行政】



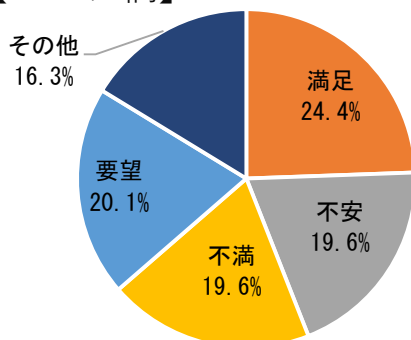
行政に対しては、要望が7割を越えました。

多くが経済に関係する内容であり、その中で気になった言葉は「老々介護」「一人暮らし」「仕事との両立」「非正規労働」「医療の県内均てん化」などです。

世代ごとの、あるいは世代を超えた問題があると思いました。

2019年と違い、コロナ禍の影響は大きいように感じました。

【コロナ禍】



2019年にはなかった問題、「コロナ禍」。今回のアンケートでは、約7割の人が2019年以降にがんと診断されています。治療には、家族や医療者など周りの人の支えが大きいことを考えると、満足と同時に不安や不満の声が多いのも仕方ないかもしれません。中には、治療が遅れた人の声もありました。「ただのアンケートで終る事なく次の何かに続きますようにお願いします」という言葉を忘れてはいけないと思います。

自由記入欄

医療機関に対して

自由記入欄に記入された医療機関に対してのすべての意見を、原文のまま載せています。

(医療機関名、医療者や治療の時期などについては●●で伏せております。)

1	お世話になりありがとうございました。
2	よくしていただきありがとうございます。
3	当時の担当医（現在は不在）は告知の時から、しっかり話しを聞いて、寄り添って下さり、相談にも耳を傾けて頂きました。患者にとってはそれが一番だと思います。感謝！！
4	最初、個人病院にてガンを見つけてもらいました。（●●、●●産婦人科）とても早い対応で、●●を紹介して下さい、●●に移ってから早い対応で検査→手術と順調で、病院側に全てをお任せするしかなく不安でしたが「広汎子宮全摘出術」で開腹し、女性の臓器を全て取りました。私の治療は、そこまで大変でしたが、術後は何の薬も治療もなく“今”に至ります。今は、1年に1回のCT検査と細胞診のみです。●●の先生方に…●●産婦人科に感謝しています。
5	現在診療を受けている医師や看護師さん非常に親切にして頂いているので（1ヶ月1回）頑張っで通院しています。
6	大変良く診て頂いております。主治Drはとても慣み易く、思っていることを相談できます。この頃大変ご多忙なご様子で、今日聞こうと思っても次にしようかと思う日もありますが、前任Drより、大腸ガンのエキスパート素晴らしい先生とお聞きしており、今後もよき関係性を保ち、お世話になりたいです。看護師の方々に良くしていただいております。皆様とても親切でプロフェッショナルです。
7	後期高齢に対しても手厚い医療が受けられているので医師（専門医、専門看護師の方々には感謝しています）
8	通院治療の設備スタッフが充実しており安心して治療が受けられています。
9	●●病院は県内の拠点病院にふさわしく、医師、看護師、その他の医療スタッフの高度で、十分な教育・指導と、患者へのケアの姿勢が満足です。
10	看護婦さんの明るく、やさしい対応にいつもいやされます。
11	最初の受診の際に、今日は何故来られたかと質問され「えっ？」と思いました。自分ががんで有り、これから治療をして良くなるという覚悟が試されたような会話でした。がん告知が当たり前になっている今日なのかなと思いました。治療に向けて本人と医療者が相談しながら進むのは大事な事でした。現在も治療中ですが、医師や看護師の方と気軽に相談出来る環境で有りがたいです。
12	医師もかみご師もすべての職員の方に良くしてもらいました。感謝しかありません。
13	これまでとかわらない診療体制を維持していただき有難いと思います。これからもよろしく願います。
14	現在治療中ですが手術をしていただいた●●病院の先生、主治医の先生、診察を引き受けていただいた●●病院の先生、それぞれの看護師さん等の方々に心から感謝しています。
15	ありがとうございます。
16	●●病院を受診して居りますが、担当の先生、看護師さん他関係者の皆さんにはとても良くして頂いて居ります。感謝しています。
17	退院してから●●年になりますが現在に至るまで毎年CT検査による検診でフォローしていただいております。お陰様で元気に日常生活を送っています。（医療スタッフの皆様にも恵まれ、特に同病の方達との交流が毎日の入院生活を明るくしてくれました。自身の性格もあるでしょうが振り返ってみるとこういう表現は適切で無いかも知れませんが楽しい入院生活でした。）
18	適切な治療をしていただき感謝しています。ありがとうございます。
19	手術後1年もせずに再発して数えきれない位のガンがありすごく落込みましたが現在の主治医のおすすめで私にあった抗ガン剤を見つけて頂き一年余りの治療ですごい好結果がでて苦しみもなく治療が続けられてる事に心からお礼を申し上げます。
20	●●の治療に満足しています。
21	●●では、ガンへの対応も予定立ってしっかりしており心配はなかった。

自由記入欄

医療機関に対して

22	私の話があてはまるのか、わかりませんが。幸い早期発見・転移もなく、部分摘出と放射線治療（現在投薬中）で助けて頂きました。私は初めてガンになりました。頭の中が真っ白でした。何を聞いたらいいのかわからないまま思いつた事を質問する私に、先生はゆっくり、きちんと答えて下さいました。違う日に同じ事を聞いてもていねいに教えて下さいました。看護師さんはガンの事だけでなく、家族の事などの話に嫌な顔せず、聞いて下さいました。技術的な治療は大切です。でも初日の診察で、私はずいぶん救われました。心の支えは1つでも多い方がいいです。「話を聞いてもらう」というのは心や気持ちを落ちつかす、とてもいい治療でした。
23	体調が悪いと再発したのではと心配になります。定期的に病院へ行き先生にお会いし検査の結果を聞いたりお話をしているとホッとします。
24	●●は相当整備されていると思います。
25	ちょっとしたことから見つかったがんでしたが見つけて下さった病院の先生方、また転院後、手術をして今も経過をみて頂いている先生やスタッフの方々にあらためて感謝しています。他にもがん患者がいたり、自分もがんサバイバーなので頭が下がる思いです。
26	現在のところ満足している
27	きめ細かな診察をお願いしている。安心である。又、定期的な診断により、その他の病気も早期にみつけていただいた。
28	●●血液内科●●先生をはじめ、お医者様スタッフの方々には、素晴らしい治療と、ケアをいただき感謝しております。
29	医師の説明、ケア、全てにおいて感謝しています。術後の傷あとも短い期間で非常に直りも早く担当医の技術力の高さに感動しています。
30	今回私は、早期に胃癌が発見されて、●●病院で手術のお世話になり、担当医や消化器内科の医師の方々の連携により、すばやく手術を受けた事に感謝している。自分はガンに掛からないと思っていたが、痛くも、かゆくもまったくなかったが胃癌が発見された事で解決して頂き、その後元気に生活が出来る喜びに感謝している。これも●●病院のチームプレーだと思っている。益々のご研鑽を願っています。
31	先生や看護師さんがやさしく親切だった。
32	心やさしい先生やお話をよく聞いて下さるスタッフさんにめぐりあえて幸せです。安心して頼っております。
33	これでいい
34	とても丁寧に説明対応してくれました。患者の立場にたって、治療にあたってもらいました。
35	担当医の先生、看護師さんにはいつも優しく接していただいて感謝しています。
36	ガンが見つかったから●●年近く、辛い治療もありましたが、いつも親身になって話を聞いてくださった病院スタッフさんには感謝しかありません
37	検診でひっかかり治療に入りもうすぐ2年になりますが、お薬（高い）だけで症状は何もでていなくて有難い毎日です。少しの副作用があるのみです。
38	今はあまり不便を感じない。
39	いつもありがとうございます。感謝。
40	信頼できる医師との出会いで、安心して治療が受けられている。
41	3度目の肝癌治療でしたが全て●●病院にて安心して手術治療でした。安心出来る総合病院だと思いますが、今後より充実した●●病院として地域医療を守って欲しい。
42	患者に親切に対応して下さり、心地良く治療を受けることができました。良い教育ができていていると思います。
43	私が治療のために通院している病院（●●病院）は、どの方も親切で丁寧な対応をしていただきました。最初は、自宅から少し距離があるため、通院に不安もありましたが、今は、この病院にしてよかったと思っています。

自由記入欄

医療機関に対して

44	今回は人生で初めての事であり突然にやって来た厄介者でビックリしました。しかし、今は「がん」ですとハッキリ医師から言ってもらえて幸いでした。又私の場合は腸に詰まりがあり手術までも入院が長くなり、術後もトラブルがあり余計に2週間入院させてもらう事になりました。にも関わらず主治医の先生には長い間親身にしていただきました。今も抗がん剤治療中です。今後もお世話になりますますがよろしくお祈いします。
45	コロナ禍前の入院、手術でしたが大変よくしていただきました。
46	最初に検査していただいた開業医の先生、手術し今もなお診察いただいている●●病院の●●先生、入院時に色々とお世話になった看護師の方々、全ての方に支えられました。本当に感謝しております。
47	満足した治療が受けられている
48	●●病院泌尿器科でお世話になっています。疑問点などについては、適切に対応してくださっています。今のところ不安はありません。
49	医療機関のスタッフのみなさんには、いつも大変良くしていただいています。特にがんの手術のあとにとてもお世話になり感謝の心でいっぱいです。
50	大腸の手術より丸●年たち、●年たったかはっきりしません。今日は乳腺の手術から1年の検診に病院に行き●ヶ月まえに主人が死亡しひとりになり一生懸命あとかたづけ等忙しく、主人●●才私●●才体力も落ち読んだり書いたりも必死です。ごめんなさい。乳腺の方もくすりを続けています。今のところ異状なしとのこと。字も乱筆になりごめんなさい。これから少しずつ落ち着いてお世話になりました方々に感謝し少しずつ元気になり御礼申し上げます。日記をめくっても落ち着いて読めず日時もはっきりとよく分らず失礼なお返事も出来ずお許し下さいませ。今のところ三人の子供が手伝ってくれ私がひとりで生活していける様にすべてを助けて応えんしてくれています。がんばって少しでも気持をしっかりと持って生きて行けたらと思います。いつも皆様お助け下さいましてありがとうございます。どうぞよろしくお祈い申しあげます。
51	お世話になりありがとうございます。
52	病院の中での連携が充分であることに驚き一人で不安がらずに居られたことに感謝いたします。
53	充分にして頂いたと思っています。
54	その都度、丁寧に対応していただき感謝しています。
55	●●病院の●●医師には、とてもよくしていただきました。入院していた際の病棟の看護師さん達にも感謝しています。産婦人科の先生がなかなか見つからなかったり、転勤されてしまう医師が多いように見受けられたり、心配なこともあります。地域の中核の医療機関としてプライドと責任感を持ってやっていただくよう応援しています。
56	病院も人手不足等でいろいろとたいへんだと思いますが、いつもとても親切、丁寧に対応していただいています。
57	初診時から現在まで担当医（主治医）が代わらず、一貫してお世話になっております。初診の時に精密検査を行った結果「中咽頭ガン」と診断されましたが、主治医は治療法や事例を説明して下さい、「必ず根治できると思います」と言ってくれたので不安がなくなり安心して医療スタッフの皆さんに任せることが出来ました。管理栄養士の方も大変親切丁寧でした。●●病院には感謝しております。
58	私は最初ガンが元で脳梗塞で入院し、その後卵巣癌と診断されました。そんな中、医療にたずさわる看護師さんやリハビリでお世話になった方々から、私の両人の主治医の先生は「信頼できる先生、良い先生に担当してもらえて運もあるし、運が強い！」って笑顔で励まされたのがとても勇気づけられて、自信をもって治療して来ました。通っている病院の体制は充分だと思し、親切で安心して治療後の経過をたどっている次第です。人間は誰しも信頼や安心が得られないと迷いが出たり離れていくと思うので充実した寄り添う心で向き合ってもらえるかが非常に大切だと思いました。
59	私は充分なことをしてもらいました。看護師さんもいい人にかこまれて本当に良かったです。1年間の間に4回手術をしました。卵巣がん、心臓弁膜症、腎臓がん、心筋こうそく、とひざまで5回しました。同じ病院です。
60	●●病院に入院したが、医師・看護師はじめ医療関係者から懇切篤実な対応を受けた。
61	主治医、担当の先生、看護師さんの手厚い対応に感謝しております。通院治療しており、体調悪い時でも電話対応して下さいるので心強いです。

自由記入欄

医療機関に対して

62	●●病院はどの先生、看護スタッフさんに当たっても、わかりやすく、やさしい対応をしていただき感謝しかありません。（本人も家族も）
63	乳がんで●年●ヶ月の治療を●●月で終わりました。最初は不安ばかりで涙がとまらない毎日でしたが、先生、看護師さん、スタッフの方達の励ましで前向になれていきました。
64	病院は大変よくしてもらい助かりました。
65	その都度迅速に対応（他病院の紹介等）治療していただき病院の先生他皆さんに感謝しております。
66	スムーズに診察も検査もしていただけてありがたかったです。
67	自分は乳がんにはならないだろうと勝手に思っていたので、●●ドックで乳がんの疑いと言われ、病院で乳がんと診断されショックでした。とても不安な気持ちで治療に入りましたが、どの治療の前にもその都度治療の道筋、副作用、副作用への対処の仕方など教えていただき心構えをしっかりとって治療できたので、良かったです。困ったことは抗がん剤治療の際、液もれがあり、●ヶ月たった今も皮膚が堅く（その箇所は少しずつ小さくなってきていますが）痛みがあることです。治るのに時間がかかるのだろうかなどと心配しています。いろいろ細かく配慮して治療していただいている病院のスタッフの皆様には、本当に感謝しております。
68	早期の胃癌健診で見つかったが、丁寧に説明をして治療が受けれた。転移や再発なく生活できている。
69	かかりつけ医院で体の異変を感じその結果該当病院への依頼を作成してもらいがんを認知してもらい治療を受けることがよかったです。特に膀胱がんの完全治癒は難しいということを気化され少し気落ちしました。当方は高齢でもあり余り気にならないほうですが医学の進歩に期待したい
70	主治医によってあたりはずれみたいなのがないよう、がん治療する方々が、一定の技術や知識が保てるようになれば良いなあと思いますが、医師不足などの問題から思えば行政や国の教育問題なのかなあと思います。私は主治医に恵まれていてよかったです。
71	●年前に子宮内膜癌治療を行い、経過観察の検査で膵臓癌が見つかり、去年術前化学療法、手術、補完治療を受けました。婦人科の先生に、10年は検査を受けるようにとお願いいただいたおかげで、早くに膵臓癌をみつけていただくことができ感謝しています。2つの癌を経験して、私がいちばん印象に残っているのは、●年前、抗癌剤治療の苦痛を支えてくださったのは病棟薬剤師さんでした。そして、今回はかかりつけ薬剤師さんでした。いちばんつらかったのは、膵臓癌が見つかり外科に紹介された時の医師の言葉。生存率を告げられた時です。これでもか！これでもか！と言われる最悪のパターン。患者の心はダメージをうけます。
72	化学療法で点滴（日帰り）と服薬のシステムは非常によい。すばらしい。ただし副作用がキツイ場合があり、これの対策を更に研究願いたい。また通常4クールは期間が長いのでは？
73	がん治療について家族を同席してカウンセリングを受け納得して治療選択できたことに大変満足しています。こうした対応をより充実していただけることを望みます。
74	毎年がん検診を受けていて、本当に良かったと思います。個人病院からすぐに●●病院に紹介状を書いていただきまし。早期発見、コロナ前で手術も数週間後には出来て今は普通に生活しています。がん検診の病院には早期発見の実績がある病院を一覧にしていただけたら有難いです。
75	がん治療は良くしてもらったのですが帯状疱疹にかかりくるしんです2年半もこれからも
76	相談支援センターを利用したいと、思いつつ治療に時間がかかり不安の内容も都度変っていくので利用できないままで。治療の合い間に気軽に行けるようなシステムだと良いのですが・・・。看護師さんたちはよく話を聞いてくださるので感謝しています。
77	心暖かい接し方に満足しています。医学的言葉での説明は勉強不足の老人には理解出来るまで時間がかかりメモ書きなどの説明があると助かります。

78	私は手術後●年で担当の医師が三人目です。一人目の医師は真面目な研修医さんでした。説明をていねいにしていたがき手術をしていただきました。その後、半年で変わられました。二人目の医師は経過観察です。採血、CT、内視鏡の検査ですが、採血の結果はペーパーで頂きますが、CT、内視鏡の結果は「問題ない」の一言で、画像を見ながらの説明は一度もありませんでした。三人目の医師は現在、お世話になっている、先生です。手術跡が肥厚性癬になって、痛みもあったのを、治療していただき痛みもなくなり傷跡も薄くなってきました。CT、内視鏡も画像を見て説明をしていただきます。大きな病院は、研修医から、ベテランの先生まで、いらっしゃるので、今はやりの「ガチャ」だと思えます。「今の先生に逢えて、心から良かったなと思います。」
79	術前、専門の方（手術室、薬剤師等）のオリエンテーションは良かったと思う。術後の心理面のフォローがなかったのが残念だった。（乳ガンで片方全摘出だったので外観の問題もあったので）退院後でもいいので心理カウンセラーがいてもいいと思った。
80	入院中はとてもよくしてくれる病院で、病棟の医師や看護師さん、スタッフも感じよく親身になって下さり安心できた。治療前も術後も主治医からの説明が乏しく、術後おこりやすいリンパ浮腫なども、具体的にどういう症状で出てくるか、どの部位かなど自分で調べねば「この痛みや重だるさ何か」がわからず不安だった。あつた主治医によると思う。→告知で泣く人ばかりではないので知りたい患者にはしっかり説明してほしい。他の科との連携が苦手かと思われる。副作用の他、合併症（？）も出てくるので、トータルで診てもらえればと思う。（生活習慣へのアドバイスも含め）こちらから積極的に言えば対応はしてくれるが、素人なので気づけない。リンパドレナージも貼り紙をみて希望できたが、案内があるのが望ましかった。
81	手術時の病院（ドクター）とその後の地域クリニック（ドクター）の連携のできる体制を取ってもらうことが心のよりどころとなるので取組みをしてほしい。（自分はその体制がいたたいお満足している）
82	医療機関のスタッフの皆さんはコロナ禍の困難の中、実に献身的にかかわって下さったことは、ただ感謝のみですが、治療や心身のコンディションに悩みが生じた時、主治医以外の腫瘍内科医の立場の方がおられるととても助かります。癌治療の迷子が減りますように。
83	がんの進行が遅いと言うことなのか次の治療への期間が1ヶ月も開くことがありその都度不安になることがある。
84	今回私は前立腺癌の治療をして頂いた者ですがコロナ禍の中で入院が決った時から入院日までの日時が長いと感じて不安な気持ちで過ごしてコロナに架かるのではないかと心配事やこのまま手術を実行して頂けるのか気持ちが不安で手術の当日までやるせない気持ちが一杯で手術の当日まで来ました。この患者としての気持ちを分かってほしかった。
85	●月、治療開始前のインフォームドコンセント（状態、治療計画説明）で「切除できない場所に転移している」と説明を受けたが、その後6ヶ月経過して、どこに転移しているのか明確な説明がない。自分の病状がわからず、不安な毎日である。
86	がんと診断された直後はだれでも心の動揺があり不安を感じる。この時の心のケアは大切だと思います。人により受け取り方は変わりますが初期のケアの重要性を感じました。
87	診察を受ける前に採血をして、その結果を聞く事がとても不安で、診察室に入る際いつもビクビクしています。手術後や治療後の再発が常に不安である事を理解して頂きたいと思います。
88	主治医の異動により主治医が変わるのが患者にとっては凄く不安である
89	何の前ぶれもなくとつぜん自分も今だに病気をうけいれてない。
90	病気に関して今後どの様に進めていくか、方法等問われても私は何の知識もないし何を質問してもいいかわかりません。セカンドオピニオンを受診たく思いますが主治医に対して失礼だと思うし、たとえ受けたとしてもお医者さんの対応は同じ様なことだろうなと思えます。結局私自身の本気度というか、あきらめの境地というか、そんなことが相手に伝わっていると思っています。
91	Drのお仕事がとても忙しい感じを受けます。結果、一人一人の患者さんと向きあう余裕が少なくなるし、Drが「焼えつき」にならないかな…と思わされることがあります。
92	私は前りつ腺ガンと診察され●●年程たちますが癌の治療がスムーズに回復せず未だにパキューム式→カテーテルが挿入したままで不自由しております。膀胱を一部切除して排尿がままなりません。透析にして治療して回復するのでしょうか？

自由記入欄

医療機関に対して

93	診察の時の待時間が長い その時に色々な患者がいるのでコロナにかかった人がいるかもしれないので基礎疾患のある人は別の所を設けてほしい。
94	2つのガンがあり2ヶ所の病院を受診している。忙しそうで相談しにくい病院がある。Drも看護師さんも。看護師さんの中には気持ちに寄りそうというより業務をこなすのが目的という姿に感じられる方が数名あり傷ついた事もある。命にかかわる病気で告知も治療中も不安はつきもの。そのことへの理解を求めたい。又、告知後や治療中にカウンセラーの方等による精神面での支えが欲しい。
95	主治医に何かをたずねた時いつも「わからない」という返事が返ってきます。先生ある程度「がん」の事知ってはとるのでだいたい事言っしてほしいです。いつも不安になります。主治医が「がん」にならばったら患者の気持が一番よくわかると思います。
96	病院、医師によって対応は違います。大変だと思いますが患者に寄り添い安心させてほしいです。
97	病気の事が分からなすぎて不安すぎる事が多すぎました。なかなかお医者さんにも聞くのが恐くて、聞きづらく、かん相談支援センターもあるけど、行きづらいのもありました。話やすい環境にもしてほしいです。
98	手術後●年●ヶ月がたちますがその間に3人の主治医にお世話になりました。大きな病院なので仕方ないのでしょうか。けれどその度に不安がよぎります。経過をご存じない（ひきつぎはされていると思いますが）医師とのつながり以外に長くずっと私の事を知ってくださっている担当の方がいてほしいです。
99	がん、先ず頭に治療にお金とどれだけ時間が掛かるのかが一番心配に成ります。又仕事は続けて行けるのか、お得意様に迷惑をかける事に成らないだろうかの心配を取り除ける様な治療の進行、説明を聞かせてほしいと思います。
100	私の場合、首のリンパに腫瘍がありその検体摘出の際、部分麻酔な為、先生、助手の方の声が聞こえており、その時の会話が、他の病院で医療ミスがあり、訴えられて人がいるとか。私は緊張で汗だくで疲れはててるのに…突然手が上がり神経に触れました。とか、患者を何と思われてるのか？と今でも忘れません！
101	がんに対する辛さは仕方ないですが、医師からの発言には何度もストレスを感じました。治す事が一番と考えておられるのはその通りですが、もう少し寄り添って頂けないものかと思っています。
102	セカンドオピニオンに関して。すすめられてると最初かんじた（ポスターなどで）わりには、実際主治医とのやりとりで、むずかしいのを実感した。セカンドオピニオンと主治医との連携など、というのは、ありえないのだろうか。セカンドオピニオンの助言を当方が主治医につたえてうけいられないという場面が多々あった。
103	初回の医師のいいかげんな判断、骨折箇所の見落としなど●●は信用できなかった。母親が年寄りだからと、内容もあまり言わない様なじじいだった。今の女性医師はきちんと言ってくれる。信用できるが…
104	現在、呼吸器内科でタグリッソによる治療を受けているが、皮膚障害の副作用が強かったため、同時に皮膚科を他科受診している。タグリッソ服用開始から1年目に足親指の爪囲炎を発症していたが、化膿・出血がある状態で3カ月位ステロイドと抗生剤の投薬のみで放置された結果、歩けないほどの疼痛となって耐えられなくなったため町医者を受診したところ、すぐに他の系列の形成外科のある総合病院を紹介され手術を受けると、たった2週間位でほぼ完治した。皮膚科および同院内の形成外科で治療できないことが分かっているのに、他院を紹介するしないのは怠慢で、毎月受診している意味がないと感じた。
105	通院治療を行っているが、尿、血液検査結果が出るのに時間がかかりすぎる為、待ち時間が非常に長い。患者への負担が大き過ぎる。
106	かかりつけ医の知識・技リョウアップ。●●（●●）を紹介するまで2年半かかった。●●医院／●●クリニック
107	1. 治療期間が長い 2. 治療費が高価
108	B肝炎で核酸アナログ製剤を服用持続治療中。何年後かに肝細胞ガンと診断されたので病名の変更を手術を受けた病院にお願いしたが、治療してないとの事でだんご書いてもらえなかった。薬は最初から受診している所でもらっていたためか…患者としては個人の病院と●●病院とは連携していると思ったのに…
109	乳がんのBRCA遺伝子検査を受ける際、たまたま通っていた●●は対応していたが、他にどの病院が対応しているのか分からなかった。オンコタイプDXという遺伝子検査を受けるのに、●●ほどの大きな病院でも対応しておらず、●●まで受けに行ったのが不便だった。

自由記入欄

医療機関に対して

110	私の友人は令和●年の●●月に大腸がんで亡くなりましたが令和●年の●月の手術前のセカンドオピニオンが満足に受けられなかったと不満でしたのが心残りです
111	抗がん剤の副作用ですと両足の裏が痺れていて日によっては痛みも加わります。転けること心配して仕事も辞めました。薬もないとのこと。命と引き替えの副作用ですと言われると納得するしかありませんでした。本当にそうなのですがちょっと辛かったです。
112	早く大きい病院にしようかと思っていました。
113	私は、●●病院の産婦人科病棟の閉鎖で転院を余儀なくされました。病院は遠くになるし、新しい先生と1から説明をし関係を築かなければならない状況は体の痛み以上に気もちがしんどかったです。「がん患者サロン」があると入院中に説明を受けに行ってみたくて思いましたが、抗がん剤投与中は体がダルくてしんどくて、そんなのに出かける気にはなれなかった。
114	激痛があっても●●は予約がいっぱいだと言い診察して頂けませんでした。急外へ行っても痛み止め投与のみです。そしてCTに影があるから外来へかかるように救外で言われているのに、予約いっぱいであり、DrがCTみてくれたけど緊急性はないからと言って激痛でも絶対に見てくれない。システムの改善をお願いします。
115	私は経過観察で3ヶ月に1度通院していますが診察までの待ち時間が長い
116	病院の中にあるがん支援相談センターで経済面の事で相談したが、結局各市町村で相談するように言われあまり意味のない相談センターだと感じた。
117	診察医が最初から(じん臓)全摘出手術と決めて説明し、がん宣告され、動揺している中でどんどんと手続きが進んでしまった。なぜ、がんに対しこの様な治療法を選択するのか、もう少し丁寧は説明が欲しかった。
118	循環器(H●●年より)腎臓代謝(H●●年より)に毎月通院。血液検査、尿、レントゲン等の検査を受けて来た。にも拘わらず何も解らなかつた。残念な思いである。●●病院とは何ぞや! 各科専門やむなしと謝ればやむを得ない事なのか。血液検査による総合的な判断が出来る体制作り而努力して欲しい。
119	甲状腺ガン切除後気管切開でカニューレを入れたまま1年半経ってもそのまま、今になって声帯を開いて固定し穴を閉じる手術を受ける予定ですが、もっと早く対応してほしかった。
120	緩和ケアの病棟や病室(個室とかの金額が)高すぎる。家で介護する場合(老々介護ならなおさら年金暮らしで生活が苦しくなるばかりで…
121	父は咽頭癌で食べることがなかなか難しかったのですが、もう少し栄養ばかりでなくおいしそうな食事を考えて頂きたいです。
122	今現在病名は多種のガンである。治療の設備又、医師が都会にかたよっている。田舎には有望な医師が少ない様に感じる。
123	待ち時間が長い(予約してあっても)
124	①検査機器の能力に医者が負けている。検査にたより治療を求めすぎ慎重さに欠ける判断をする。新たな病人を造り出すこともある。②治療方針に沿って無条件で薬メーカーの処方を実施しているように思える。このとき発生した副作用等は、院内の専門医に患者をまわす安直さを感じられる。主治医であれば、患者の細かな変化にも耳、目を向けるべき。
125	投薬の薬が先発医薬品のみでジェネリックがなく非常に高額になり支払が大変。
126	病院との連携は恐らくあると思いますが、私達はその情報を病院を通して知ることはない。他に治療が何が、独自の治療をしているPTを紹介はしてもらえと思うが、ドクターが調べてくれたりすることがない 特に粒子治療すら「知らない」と言われたことは、(その後紹介してもらえたが)ショックだった。
127	コロナの状態で入院した場合、面会出来ないのがつらいです
128	待ち時間が長いのはやはり苦痛に感じました。
129	入院時の食事がまずい。どこの病院もそうだが予約時間より1時間以上待たされる。何のための予約か。
130	治療中の外来診療について、予約時間から大幅に遅れることが常で、患者として身体に負担がかからない方法を検討していただきたい。椅子に掛けて順番を待っているのは非常に苦痛。前検査を含めると長時間になる。付き添い人にも多大な負担をかけている。

自由記入欄

医療機関に対して

131	受診の為の待ち時間が長い。私自身の場合ではないが高齢の母の場合、待っている間に足がむくみ立てなくなり座っている状態も長く具合が悪くなった。横になれるなどの（気がるに）状況がほしい。予約の意味がない。
132	●●病院の医療費は非常に安い。●●はなぜ高いのか？駐車料金は取らないでほしい。
133	左腎臓を空腹鏡により摘出術後、翌朝ベットから降り「立って見て下さい」。と言われ立って見ると右膝がすとんと落ち立てなかった。その時違う医者からだが、「以前から悪かったでしょう」と言われ見捨てられた。ケアを親身になってやって欲しい。
134	病気に対しての日本の最新の治療を教えてほしい。当病院で設備がないのであれば、該当病院の紹介もできるので、検討可、という選択肢を与えてもらいたい。なかなかこちら側から一生懸命診て下さってる先生に対して聞きにくいけど、助かる可能性があるのなら別の治療を受けたいという葛藤がある。
135	レンタル医療機械に高額はやめてほしい。生活困難。長引く。訪問看護師と病院内看護師の違い！いい加減な説明の看護師と理解できるまでかみくだいて説明してくれる看護師の差は人格なのか？見逃すのか？看護助手にも同じことが言える。あいさつしない女。
136	体調が悪く受診した個人院で胃カメラを希望するも、本院は混んでいるし、胃が悪そうに思えない、食べすぎではないか、不安な事があるのかと胃カメラをしていただけず。2ヶ月程通院して胃カメラを強く希望して、他の医療機関で受け診断が胃ガンでした。もっと早くにと思い、残念でした。医者も人間で失敗、ミスはあるでしょうが、患者の訴えを聞いてくれないのは最低だと思います。患者の訴えに耳を傾けて下さる医者を望みます。
137	内視鏡検査前の大腸洗浄剤を飲み易い薬に改良して欲しい。検査を受ける人を増やす為にも必要な事と思います
138	※医療の充実が良いですが？診察の先生（専門医の先生を増やしてほしい。）診察の待ち時間が長い。4時間～5時間の時間長すぎ。●●病院
139	がん患者さんに対する心のケアや経済的にこまっている人に対する保障とか医療費などももう少し考えてほしいと思う。
140	私は卵巣がんなので産婦人科にかかっているが、予約しての診察なのにいつも1時間以上は待つ。できれば産科と婦人科をわけてほしい。相談支援センターに、がん経験のある社会福祉士をおいてほしい。
141	卵巣がんで摘出手術をしましたが、退院後、毎月1回受診してますが、ホルモン療法を始めた為、乳がんの可能性も出てくるので、それは、自身でどこか検診でも行って自己管理して下さいと言われました。腹部のことだけは、こっちで診てますのでとのこと。トータルでその病院内で他の科を紹介して頂きたいなあ。自分でどこに行っているのか紹介状もなしに大きい病院には行けないし
142	応診を充実すること
143	局所的ながんではなく症状も全身にわたるので気になる症状が出た時に他科を受診しやすくしてほしい。かかりつけ医が総合病院しかないので困る事がある。
144	毎回採血があり待ち時間が長いと苦痛の人も多い。病院での待つことのできる所（休める場所）や、いやせる環境（中庭など）が必要である。
145	ガン治療についての説明を、くわしくしてほしい。
146	常に最新の治療方法を取得して欲しい
147	1. 早期発見・早期治療の徹底を要望。2. ガンに対する予防対策の実施 3. ガン患者に対するケアの充実
148	再発に関するリスクや予防についての指導がもう少し欲しい。
149	術後のケアはとても大切な為、よく話し合い決められるように話をしっかり聞いてもらいたい。
150	入院中、一人でいる時間が長く、いろいろ考えこんでしまったり、落ちこんだりすることが多かったので、気分を変えらるためにもテレビ料金の無料化や病院内の図書施設を充実してくれるといいな、と思いました。
151	患者は薬をもつかむ思いで通院しているので安心出来る様な助言と説明をして欲しい。
152	治療に対しての全ての開示（リスク、メリット、デメリット）

自由記入欄

医療機関に対して

153	患者の体調悪化時の対応やその態度の接応の速さやとに角患者数の多さにも医師との話し合い方に真剣さが感じられる様にしてほしい。それ等を求めるのは無理かもしれないが？今後先に人員職員関係者も各機器の充実と共に社会の世見や物事の見方との差も考えて、各種の勉強会やセミナー等の参加を増やしてほしい。同時に常に患者との対応や接し方には笑顔での話に心してほしい。それを各自で心している様子には毎時感心したら職員さん（先生共に）その教育を感じて居ります。治療効果は選んだその方向と共に薬の利用が必要なら各々に接する者同志の互いの笑顔と笑い声で患者を思い見る心意きが決まって来るでは！等と思ふものです。（愚恥の一患者共に病状で各所腫やふまえ有子の思ふ事で失礼が）
154	専門スタッフの育成
155	①リンパ浮腫の早期診断と専門外来や専門セラピストへの繋ぎ。②リンパ浮腫の知識をもった理学療法士の養成。可動域制限が生じている患者に応じた適切なリハビリ。③②を踏まえて地域の病院のリハ職との連携。④地域の病院でもリンパ浮腫に対応できるセラピストの配置。⑤リンパ浮腫の手術療法を患者が期待できる効果が得られることを願っています。
156	4年目の再発はかなりのShockだった。私自身が癌をあまく考えたとはいえるが今となっては退院時、退院したあとの生活の見直しなどもう少し注意すべきだった。食事も含め。再発の可能性のデータなどもう少し退院時の指導(?)など、私自身も少し真摯に受けとめるべきだったと反省している。再発を聞いた時なぜか自分に腹が立ってしまった。個人によって違いはあるが退院時の指導などの充実を希望
157	診断書等、生命保険会社との書類もう少し迅速にしてもらいたい。料金面も安くしてもらいたい。
158	病状については、くわしく説明してほしい。特にガンの進行に関して再発の心配などを連絡してほしい。
159	同じステージのがんでも人によって個人差があると思うので、こういうがんのときは、こんな治療をして結果どうなった、生存率は、〇%だったというような具体的なデータを多く示してもらえると治療の選択がしやすいように思います。（治療の方法の説明に加えて）
160	その時どきに応じて治療をアドバイスして頂いていますので前向きに生活しています。これからも医療スタッフへの支えがあれば有り難いです。
161	病院ですぐ内容として、TVや読書ぐらいしかなく、WiFi環境が整備されていたらスマホを活用して、もう少し楽しい入院生活を送ることができたと思う。
162	副作用のない自費のがん治療を取り入れてほしい。
163	治療を受ける時、先生との相性がとても大切だと実感している。この先生にならまかせられると思えることが幸せ。先生を選ぶことができないので、患者の気持ちに寄り添ってくださる（心から）先生を育ててもらいたい。先生の優しい言葉で患者は安心できる。病氣と闘える。
164	ステージで対応が決まっているみたい感じる。ステージ4でも患者本人が手術を望めばできる様に改定して欲しい。
165	県内に内科的な医療（食事療法）や精神的な医療（笑う効果）を受けられる施設、あるいは受けるための相談施設はないかなあと思っています。すでにあるのかもしれませんが。
166	病院の積極治療が終了したあと（退院後）私が死を迎えるまでどこでどのような生活をするべきか、一応自宅で自分が動ける間は生活しようと思う。が悪化した場合、どのような方法をとれば良いのか解らない。病院で教えてほしい。今治療中なので終り次第病院に聞かつもりだ。
167	玄関で体温測ってますが、本当にコロナの人が出入りしてないのか？と毎回思っていました。コロナ禍、入院患者は誰も面会はできませんでしたが、病棟から外来棟へ行きコンビニや通路で家族らしき人と会ってる病衣を着た人を見かけました。注意はできないものなのかな？
168	治療方法、先端医療について説明が欲しかった。
169	がんの告知は家族にまず相談してから（その様にされていると思いますが）
170	かんわケアの受けられる在宅医療についてもっと知りたい。

自由記入欄

医療機関に対して

171	私は毎年がん検診を受けていたにも関わらず、検診から10ヵ月程で乳がんが発覚しました。今思うと、石灰化など兆候はあったのではと思っています。(初診の個人病院で、医師が「石灰化をがん検診でどうみていたか…?」とコメントされていました。)石灰化があるからといって、必ずがんになるものではないですが、検診であったとしても丁寧にみて、結果に細かく記載いただきたいと思っています。
172	手術前の状況、手術後の過ごし方についてもっとくわしく説明を。
173	患者のために最高の治療、先進的な治療をお願いします。経済的にも治療が続けられる様をお願いします。
174	事実をありのまま伝える(終活スケジュールが有るので)
175	乳がん検診について、マンモだけじゃなくエコーもセットで診て欲しい。
176	さらなる高度放射線治療装置の導入等最新医療の提供と新機器を扱う十分な知識と経験を持つ人材の確保。
177	最先端の治療を誰でも保険適応で受けられる様にして欲しい
178	ニュースではガンに対して新しい治療法や薬剤等発表されているが、滋賀県では保険適応での最新の治療が受けられるのか。又、最新の医療器具等用意されているのか、疑問です。たとえばCTの機械でも放射線の少ないのがあるそうですが。
179	患者にとって、後遺症や副作用の少ない治療を望みます。
180	検査結果は早く伝えてほしい。
181	最初に使った薬の副作用がかなりひどく、担当医や看護師の方には色々配慮して頂きましたが、それでもやはりドクターは呼吸器専門で副作用として現われる症状、私の場合は特に皮フの症状は専門外であった為、最終的には皮フ科のかかりつけ医に診てもらうことになりました。できれば、同じ病院内で、連携をとって頂けると患者の負担も少なくなると思います。
182	ガンに対する最新医療を各都道府県に取り入れ、しかも保険適用されたい。(光免疫療法等)(放射線治療等-光子線、重粒子)
183	滋賀県内の治療の均てん化
184	医療費を安く(たかすぎる)
185	正直に言うと、私は末期に近いがん患者です。完治の見込みはなく、余命的な宣告を受けているわけではありませんが、そんなに長く生きていられるわけではなさそうです。がんと共存しながら、どれくらいの期間、現状維持状態で普通の暮らしを送ることができるのかわかりませんが、それが1日でも長く続くことを願っています。医療機関は、通常、保険医療を提供できる範囲の標準治療をされていると思うのですが、そこで受けられるかどうかは別にして、「治験」という情報をもっと発信してもらえないものでしょうか?自分が治験に参加してみたいとは思っていないのですが、治療としての選択肢としてはあってもいいと思うのです。治験に参加していない医療機関であっても、そういった情報を積極的に患者向けに提供していただけるとありがたいなあと思っています。
186	抗癌剤治療後の副作用に対するケアは1人暮らしでは対応しきれないので、早目に教えてほしかった。(特に脱毛への準備)食事についてですが命綱と思って何度も挑戦しましたし看護師さんとも話しましたが口に合わず、体力、気力衰えました。ホントにご一考お願い致します。一度ご試食頂ければと思います。失礼をお許し下さい。売店も●●様の方がおいしいと思う方が多かったです。
187	「がん患者サロン」の内容や様子などを知りたいです。なかなか自発的には参加しづらいです。また、緩和ケアでは症状などの緩和だけではなく、精神的なつらさを和らげる心療内科も充実していただけるとありがたいです。がん患者の家族の支援やグリーフケアのサロンがあってもいいのかなと思います。(AYA世代の人向けのサロンとかも)
188	身近で高度な医療が受けられるようにしていただきたい。●●病院の統合が紙上にはなっていたが、患者の利益を最優先してほしい。
189	とにかく高い者に、ゆっくり話しかけてほしい。ドクターDrの対応もいろいろ今までガンそれ以外でもいろんなDrに見てもらいましたが、思いやり深いDrそうでないDrいろいろでした。Drが患者にいろいろされたら病院に行くのもつらくなります。
190	不安の取り方

自由記入欄

医療機関に対して

191	がん治療は日進月歩で、常に進んでいると思います。がん拠点病院での治療を選択したのも、新たな治療を早期に受けられる事を期待しての事ですので、積極的に新たな治療薬、治療法を採用して頂きたいと思っています。
192	最近は入院期間が短く、不安をかかえたまま、退院の日を迎えます。もう少し、入院期間を長くしたりして、安心して退院させて欲しい。
193	●●病院のスタッフ不足
194	高齢者に対してはどうしても消極的治療になりがちですが、これから高齢者社会になる上で何が良いのか考える必要がある。
195	T V等のコマーシャルなどで見るが、オシッコでガンがわかるというコマーシャルを何回か見たがそれが本当なのでしょうか？それであるのならつらい検査等も必要であるが早急にオシッコで調べるようにしてほしいです。
196	患者はお医者さんの前では、元気に見せている所があると思います。忙しいとは思いますが、やさしく子供をさすような対応をととも求めます。
197	外来での通院治療中ですが、他の患者さんがまる見えで、会話も丸聞こえなのが気になります。何か理由があってカーテンなどは処置（私は注射）の時だけにされてるのだろうと思っているのですが、他の患者さんは気にならないのかな？と思っています。
198	看護師さんの心のアフターケアのじゅうじつを計ってほしい。病院内の病棟のそうじの徹底。
199	ガン医療拠点病院の充実を望む。
200	患者ひとりひとりに寄り添っての看護・対応はむずかしい事は理解できるが、毎日変るスタッフさんに患者はなかなか心を開く事はむずかしく、コロナ禍で面会もなく孤独を感じた。紙の上（パソコンの上）や医療知識上ではなく、心・人としての対応を望みます。
201	近くにガンセンターのようながん専門の病院を建ててほしい。医師が不足しているのはわかるが、●●病院ではなくガンのみの病院をお願いしたい。今後、2人に1人のガンになる人がいる世の中になる為
202	入院期間の充実
203	がんを治す薬を早急に作っていただきたい。
204	妊孕性温存療法を受け、卵子凍結が完了したあとに、助成金の申請のため証明書の記載を依頼したところ、居住している県への助成金の対象かどうかの確認はされていますか、と言われた。県への報告、相談等が必要なら凍結前に教えていただきたかった。そういう案内が病院のホームページ等に記載されているとありがたいと思う。
205	専門用語等を使わずに、病院に慣れていない人に対してわかりやすく説明等をしていただけると助かると思います。がんが見つかり不安な時に次から次へと説明されて混乱してしまいました。（必要な事とは理解しております。）
206	患者は常に不安です。患者の不安をケアできる体制が欲しいと思います。
207	妊よう性保存対象者に対して、主治医がもっと理解を深めて、主治医発進でp t、家族に説明して欲しい。
208	定期健康診察を受けて10ヶ月位でステージ4のがんが見つかりました。ガンが見つかったのも転移先の痛みがキツカケでした。定期健康診断の精度を上げて下さい。（A Iを使って精度の向上を願います）
209	外来化学療法センターで点滴を受ける際に、ずらっと並んでベッドに横になります。患者さんによって薬の内容も所要時間も違うので長時間の方はだいたい卓上テレビを視聴されています。病室でのテレビには、イヤホン使用が義務化されていたのですが、センター内では、自己判断にまかされている様で、私の隣のベッドに横になる方は、いつも大音量です。注意してほしいです。
210	体の負担の少ない内視鏡での切除がより多く出来るよう、技術の向上を期待する。
211	P e t 検査を受ける際、通院していた病院では検査の機械がなかった為、遠方の病院へ行って検査してもらいました。体調の悪い時に長い時間の移動は辛かったです。できれば近くの病院でもP e t 検査が受けられる様になればありがたいです。
212	薬の副作用を出来るだけなくして欲しい。患者に対して寄りそってほしい。
213	レベルの高い医師の確保重要。

自由記入欄

医療機関に対して

214	治療の選択肢を色々提示。積極的な治療をえらばなくなった時医療機関から離れてしまうのではないかと不安がある。
215	どういうところに、どういう相談ができるのかの情報提供の充実。
216	急な手術、治療に心がついていかず、自分から相談したいと申し出たが、たくさんの患者がいる中大変だと思うが、心のケアにも積極的にとりこんで頂きたい。食事が採れない時への対応を充実して頂きたい。
217	突然に白血病になり、どうしていいのかわからずこの●ヶ月過ぎて来ました。病気に対して何の知識もなくどうしていいのかわかりません。担当の先生の指導にしたがい毎日生活しています。ちょっとでも深く考え先の心配をすると心がこわれそうです。精神がつぶれそうです。話を聞いてくれるだけでもいいので心のケアをして欲しいです。
218	コロナ禍なので医師がマスク・フェイスガードなどで、私難聴なので、うまくコンタクトが取れなかった。行く度に家族の世話にもなれず、困った。医師も嫌な顔していた。ナースが横にいて間を取ってくれたら良いなと思った。それだけの為に家族が時間をさいて来てくれるのも悪いし、私自身は車も運転するし一人で行けます。
219	現在の処置が最適か、他の選択はないのか等、知りたい。
220	がんに関する専門的に診てくださる医療従事者をふやしてほしい。
221	土・日診察・検査対応可能な医療機関があれば就労に影響が出ず有難いのですが…。
222	個人の不安をとりのぞく支援（相談や質問）をしっかり行って欲しい。患者は多くの不安で何をどのように言えば医師にわかってもらえて、答えてもらえるか、こんなこと聞いてよいか不安いっぱいなのに、「そんなこと聞くのか」みたいな雰囲気に対応されると落ち込みます。おいそがしいし、診療時間もかかって大変なのは分かりますが、患者の不安にやさしく対応してほしい。また相談対応専門の担当部署など設置されていればよいと思う。
223	自分ががんになってみないと気持ちや抗がん剤など治療の辛さがわからないと思います。患者の気持ちに寄り添って多くの方が治癒できるように努めて頂きますようお願い申し上げます。
224	患者同士の意見、悩み等、話ができる機会を作ってほしい。同じ悩みを共有するのは同じ病気になった人しかわかり合えないと思うから。
225	がんを始医療相談等について医療情報の充実を計るべきと思います。
226	検査予約などを各窓口に行かないといけないのは体調不良時には大変かと思う。受診時間（次回予約）、通院距離によっては少し時間調整してほしい。
227	各地域の総合病院、どこでも癌治療をができるようにしてほしい。遠くの病院でないと手術、ができないということがあることに驚いた。私自身は幸、近くの病院で手術を受けられたけれど、すごく不公平感があった。
228	再発の不安対する心のケア
229	①複数のがんに関係している患者に対する一貫性を含んだ医療体制②紹介状が必要とか紹介状に代わる金銭の要求をしてほしい
230	先生にすべてまかせています（いわれた事は守っています）
231	できるだけ長生きさせてほしい
232	今現在、自身ががんで有ると言う認識があまりないので特に意見等は有りません。
233	がんの知識が無かったため、インターネット等で調べ始めたが、医師を信頼して、調べることは止めた。知識のない者は医師を信じるだけ。
234	昔と違って本人に病名を伝えて頂くことは良いことだと思う。自分が高齢者だからか？昔はがん＝死で事実を隠すことになっていた。事実を捉えて「向きあうこと」と思う。
235	医師の当たり外れがある
236	お世話になっています。
237	異状なし
238	記入事項（○印）に記したので充分です。
239	ガンはなおせないものか？

自由記入欄

医療機関に対して

240	Cancer Never Give Up!
241	昔より進歩していると思う。今は自分の事でくわしい事は考えられない。
242	担当医が二人やめた。現在三人目の先生
243	がん予防となる生活習慣の改善、抗がん剤治療、手術以外の治療法の選択肢がない。

自由記入欄

行政に対して

自由記入欄に記入された行政に対してのすべての意見を、原文のまま載せています。

(医療機関名、医療者や治療の時期などについては●●で伏せております。)

1	抗がん剤治療が始まり、医療用の帽子の購入を考えていた時、新聞の記事で、●●市による医療用ウィッグ、帽子の購入に1万円までの補助金がいただけることを知りました。申請をして補助金を受けることが出来、とても助かりました。
2	国民健康保険限度額認定証の発刊などでたすけてもらえました。
3	高い治療薬と聞いていますが自己負担上限受給者証をいただいていますのでありがたいです。お金の心配なく治療ができています。ありがとうございます。
4	ウィッグ購入時に補助金がいただけると病気から教えてもらい、申請して受け取りました。大変ありがたかったです。お礼申し上げます。
5	医療費の負担分も高額でなく妥当だと思います。(自分自身で思っていたよりも負担は少なくて助かりました)
6	お世話になっています。
7	記入事項(○印)に記したので充分です。
8	限度額や(福)で安心して医療が受けられます。ありがたいです。
9	自分がガンになって初めて社会福祉の手厚さに気づきました。困った時にならないとわからないのにいろいろ考えて下さりありがとうございます。
10	高額医療費の限度額適応?というのはとても助かっています。今のところ生活に困るようなことはないので、安心して治療が続けられます。
11	本を読んでヘルプカード(ストラップ)を役場で頂いてきました。市バスにも専用席が用意されているのを知りありがたかったです。周囲の方々にも自然とアピールが出来るし、周りの方々も自然と気遣いが出来るようになってくるものと思うので十分啓発につながっていると思いますし、また国からの「支援制度」や国民年金納付の「免除」に関してもありがたく思っております。
12	がんになって、経済的に困窮に陥るまでにはなっておらず、充分支援を受けられている立場でしょうか。特に要望はありません。
13	病気になったことがなく、●●年過ごしてきたが病気になって高額医療制度がどれだけ助けられているか必要かどうか身にしみて感じている 無駄に、医療費がつかわれることなく、慎重にと思いますが、この支も継続して頂くことを切に願います ステージ4の私には継続した治療が必要なので、きっとなくなったら多くの困る人がふえると思う
14	高額医療の補助があり助かりました。
15	抗癌剤治療薬も保険適用になったばかりの薬でしたが放射線治療など医療費も高額になりました。が、限度額適用認定を利用させていただき助かりました。(滋賀県にも『子供ホスピス』の施設を希望します)
16	治療費の補助が色々あり助かっていますが、もっと手厚い援助があればもっと助かります。
17	がんになると経済的に悩むことが多くなります。高額医療費制度とか有って非常に助かりました。この制度の廃止も話題になっていますが、是非、続けてもらいたいものです。
18	今、●●病院を他企業にゆだねるとか…と話題になっている様だが、以前の●●ではなくて、医師と患者さんといかにコミュニケーションを取ってにこやかに、愛されて、親しみのある病院にするか取り組んでおられる姿を目にしてい、以前とはまったく違うので行政側からもしっかり見きわめて欲しい。以前とは、まったく異なっていますよ!!(一県民より)
19	今後は2人に1人ががんになるとの報道がされている世の中でもある昨今ですので予算の許す限りで今以上の充実をさせてほしいです。たまたま本日新聞に私のお世話になっている病院の事が記事になっていましたので心配になります。

自由記入欄

行政に対して

20	「がん」という病気は知ったその時から「生きることと死ぬこと」を同時に考えてしまう病気だと思います。がん治療が長くなるといういろんな経験をして病気に対する考えなどもおちついてきましたが、はじめはわからないことが多く治療の知識もないのでとても不安でした。行政からのもっと病気に対する（関係する）ことの発信があれば良いのと思います。（支援のことなど）
21	がんが判明した時点で仕事は退職となり、傷病手当をもらっているが、支給期間が1年半でそれまでに直るか、死ぬかすればよいが、その先が経済的に不安である。
22	ストーマ申請（障害者申請）をしているが、数ヶ月かかっておりその間の自己負担が大きいので、なぜそんなに時間がかかるのか？優先順位を考えてほしい。
23	国民年金から出す医療費が出せない（高い）
24	紹介状がなければ高額な医療費がとられるのはいかながなものでしょう！！
25	病名が慢性肝炎→肝細胞ガンとなれば診断書はいるし…一年ごとの更新（核酸アナログ製剤受給者証）の時大変困りました。後になって聞くと、薬を出している病院で書くとの事。なんか2度手間の様な事になり…すっきりしません。
26	経済的に大変や 生活できない
27	市の検診で乳ガン検診を毎年していたが、今回、みおとしがあり発見が遅れました。もっとしっかり読影して下さい。●●と●●で、ある科とない科があって、1つの病院で連けいが取れないのが困ります。
28	ガン患者に対する支援が少なすぎる
29	湖北地方にもがん医療専門病院を設置してほしい
30	誰も責任を負っていない。専門家の意見も自信のなさが感じられて聞く気になれなかった。
31	県内●●の妊孕性温存療法研究指定医療機関に温存療法について相談に行きましたが、私の事例は医原性不妊にあたらないと、治療はできないといわれました（結局、後になって対象であることが判明しました）。指定医療機関でよいのか疑問に思います…。
32	介護業者の支援以上に家族の支援が大きい介護保険を支払っても役にたたず。介護保険は互助保険利用せぬ損をする保険？
33	病名に癌と判明した時より、精神的に不安定になり、普段の生活にも支障を来す。抗癌剤の投与で体調が安定せず苦しい。又治療費の問題もある。
34	経済的に困っています。生活保護を受けている人は病院は無料と聞きましたが不公平だと思います。
35	県内で受ける事の出来ない検査・治療がある。滋賀県は医療後進県なのでは？
36	年金生活で苦しい
37	最近ではネット社会になりすぎて、ネット環境になれていないと、役場まで行かないと情報がとれない。
38	自分から出向かないと分からない。SNSで調べて電話相談するようにしている
39	薬剤が経口摂取するものに変わりつつある中で院外処方となることになり検査代、薬代として分割されてしまって高額医療制度があるが院内。院外。で別途費用がかかるため負担が大きい
40	国民健康保険の（特に）ア区分の保険料並びに負担限度額が異常に高過ぎる。タグリッソの薬価が高いものの、きっちり限度額内に収まってしまったため、医療費だけで毎月20万円超の負担となり、さらに保険料が毎月10万円弱もかかるので、特に入院・手術等をしなくても年間400万円弱の負担になり、年収1千万円程度だと生活できなくなる。また雑所得や先物・FX取引での利益を計上しても、国保は、保険料と負担額が上がるので将来の資産形成にも支障をきたしている。年収の判定基準を見直し、保険料と負担額の累進性を緩和していただきたい。また、高額療養費の申請についても案内が来たり来なかったりしてよく分からない。
41	かかりつけ医の技りょう不足が疑われる場合は一般に公表すべき！！一般質問欄にかかりつけ医の質問・記表欄がないのか！！
42	知事が南部の人ですので南に県政は片寄っている。北部方面に全て目を向けるべき。●●市●●●●満●●才

自由記入欄

行政に対して

43	「がん情報しが」「がん患者力. com」など情報を得ることは大変力になりますが、パソコンで検索しないと出会えない情報でした。これらを紹介する冊子などが病院以外の公共の場（図書館や市役所等）にあれば良いと思います。また学校教育に自己検診（乳がん）や家族や身近な人のがん（病気）や看取りについても学べる機会を取り入れて頂きたいです。
44	いろいろの情報を発信してほしい
45	私の場合、従業員も多い大企業の部類の会社であり、定例的に健康診断が実施されたことにより、比較的早く発見されるのが見られた。退職されて健康診断の機会が少なくなった国民には予算を割り振りして、全国民が最低診察を受けられるような医療体制を作って欲しいですね。
46	乳がん検診について、問診・マンモグラフィだけではなく、触診と超音波で検診したほうが漏れる確率がぐっと下がるのだと思います。私は乳がん検診のことを大事だと意識して、長年続けてきましたが、●年前の●月自分でしこりを発見し、病院のマンモグラフィで映像映ってなかった。超音波ではっきり映りました。もし長年の検診超音波でやったら…悔しくてしかたがありません。ステージⅣ乳ガン、肝転移になってしまった！
47	もっともっとガン検査を行なうよう呼びかけてほしいです。若い人でもかかりやすくなってきているので、ガン検診は無料をお願いしたいです。（どんなガンでも）
48	がんに対する保障、保険などもう少し支援してもらえると、いいと思う。
49	病院で働いている方の給料をあげてあげてください。お願いします。
50	●●市長は何を考慮しておられるのか、●●病院の患者様の苦しみや不安は大きいと思います。●●病院は市民の間ではコロナ病院と化し、以前の様な専門的な治療体制が整っていない中、他の地域病院に患者が移らざるを得ない中、処点病院逼迫した状態であり、元々の患者や支援して下さる医療従事者の皆様大変です。早期の改善は地域のクリニック町医者も不信感ありとのこと、大病院に買い取って欲しい。
51	とにかくお金がかかるので、経済的な支援をしてほしい。私には家族が経済的にも支えてくれているが、それでも高額な医療費にしんどい思いをしている。もちろん高額療養費制度を利用しているが、毎月限度額いっぱいまで支払っている。複数医院（耳鼻科）にかかっているためなおさら支出が多い。仕事もできていなくて経済的に困っている。
52	入院中に手術準備の為、歯科受診もさせられました。医療費の上限に別に歯科の料金が加算され、上限額から色々高額になってきます。入院費としてまとめて上限にしてほしい。
53	薬の研究や開発、外国で使用されているものの承認期間の短縮。高齢になってからの治療費の軽減。
54	若い方達でも安心してガンの治療が出来るよう治療費の負担が少なくなるようにお願いしたいです。
55	今後「がん」に関する啓発と医療機関への支援と予算の配布を重視していただきたい。併せて医療スタッフへの待遇を重視して安定した就労の維持に努めていただきたい。
56	2人に1人の割合でがんになる時代と聞きます。早期発見、治療で少しでも予防が出来る事が良いと今回わかりましたので、もっと検診や自分の体を知る機会が増えるといいですね。なかなか症状が無いと病院にも行かず治療が長引く結果になるので、検診がもっと身近な存在である事がいいですね。お互い声をかけ合って行ける気軽さが望まれます。
57	ガン治療は高つくつので行政は何か対策を考えてほしい。
58	治療医療費の補助
59	癌治療にはお金がかかるため、がん治療の節約など教えていただけたらありがたいです。
60	生活面たして、物価高支えんがほしい。治療費が高いと思う、薬代もけっこうたかつかます。
61	1. ガン患者に対する治療費等の支援体制の充実 2. ガン通院に対する費用支援の充実
62	高額医療に対する費用の助け、●●病院への高度医療設備の充実 アンケート結果が良い方向に活かされれば良いのですが（他の人も含め）
63	費用が少しでも軽減出来る体制を整えてもらいたい。
64	がん患者が安心して仕事に復帰できる環境を作ってほしい。治療費の補助、助成の拡大。

自由記入欄

行政に対して

65	ガン治療費用の支援。
66	高齢者が病院に行く事が億劫にならない様に、1人でも気楽に専門家と話がしやすく出来る様居場所、通うのが簡単に、病気に対して積極的になれる環境が必要では。
67	私は●●市に居住しており、現在●●病院で治療しているが通院が遠く、近くに十分なガン治療を受けられる病院がほしい。(高齢になれば、通院が困難である)
68	特に中小企業への就労指導
69	現在、私は国民年金と主人の年金で生活しています。病院の支払いが毎回年金の半分以上必要です。かなり肩身の狭い生活をしています。長期治療者に対する負担軽減をお願いします。
70	リンパ浮腫治療が現在認められている乳がん等に加え、軟部肉腫にも適応していただきたい。広範囲の腫瘍摘出による運動機能の低下及び浮腫によって日常生活に支障が起きています。保険適応により、リンパ浮腫治療(リハビリ含む)が受けられることを願っています。
71	より、めんみつな情報提供をお願いしたい。がんの種類により色々な情報を発信してもらいたい。病院や医院に配布するとか。(かかりつけ医院で、待ち合い室に貼ってあったので検査をうけてがんが見つかった)
72	治療にかかる費用を安くしてもらいたい。収入に応じた対応をお願いした。途中で治療をあきらめることでは出来るようにしてほしい。
73	市の健診等で、血液や尿でがんを診断できる内容のものも含められるようになればいいなあと思います。人間ドックを受けなくても、がんの早期発見が市の健診等で血液や尿でできるようになればいいです。
74	経済的な支援を望みます。とにかくコストがかかる。
75	医療、治療費における減額などの支援の強化
76	研究者の方が最善の治療を研究して下さい。それだけに最新治療が安心して受けられる様に保険適用をお願いします。
77	病気や治療などに関して、信頼のおける情報発信サイトの案内をHP上などで通知して頂けると、不正確な情報にまどわされることもなく、ムダな時間も節約できると思う。
78	母子家庭(ひとり親)でがんになり、なかなか連続して就労ができなくなりついに退職せざるを得なくなった。収入は傷病手当がしばらく頂けるが限度もあり、家賃、光熱費等生活にかかるお金と子供の教育資金(受験、塾)税金への出費で生活が厳しい。貸付ではなく、せめて家賃への支援をしてもらいたい。至急の生活保護を聞きに行ったがダメだった。
79	副作用のない自費のがん治療を保険適用すべき。一部のがん産業に利益のいく仕組みはおかしい。海外の先端のやり方をもっと取り入れるべき。
80	「めんどくさい」「元気だから」「痛いところないし大丈夫」その気持ちも分かります。就労について会社等で健康診断がある人はまだ健診を受けるチャンスがありますが、自営業だったり専業主婦だったり、自分で動かないといけない人々が行く気になる法はないでしょうか。
81	生活支援はもう少し無いか?現在の生活扶助ではとても生活出来ない。物価が上がっているので1日1食1回、入浴は2日おきになっている。
82	住民健診にPSA検査を加えてほしい
83	1、2年目のコロナ禍では、コロナコロナとそちらの心配ばかりで持病の治療が滞る方がいたという事。進行の早い乳がんを患っているので治療が遅れることの方が恐怖です。実弟がデルタ株の時コロナで重症化して死にかけました。軽症(ホテル療養)からの重症です。対応が不十分だったと聞いています。でも行政も大変だったという事は存じてます。今までの経験を生かして次同じような事態になった時の教訓にして下さい。
84	ガン治療について、行政として出来るだけやってほしい。
85	全国どこでもかもしませんが病院のスタッフ不足、長時間労働などが少しでも改善できるようにしてほしい。また、滋賀県については大きな病院がかぎられ、なおかつ●●病院のように患者を不安にさせるようなことは今後できる限りなくして欲しいと思います。どこに住んでいても安心して医療を受けられるようになってほしいです。
86	経済的支援を願う。

自由記入欄

行政に対して

87	今後も患者に対して支援をお願いしたい
88	治療費負担の軽減策充実。
89	私は毎年がん検診を受けていますが、職場で案内や助成がない方はなかなか行政の検診を受けに行かないように思います。（うちの夫もその状況です…）個人にうながしても、仕事を休んでまで検診を受けるのは難しい方も多いため、企業等にうながすように対策していただくと、受診率も上がり、がん患者の減少につながり、医療費も減少していくのではと思います。
90	診療によっては高額に対する援助等。がん予防の方策に取り組み、強く市民にその輪を広げて欲しい。
91	給付金をもっと増してほしい！
92	車運転が出来ない時の通院手段の充実
93	経済的な支援など
94	専門病院を作って欲しい。
95	20代からの乳がん検診について、費用を一部負担したりもっと推奨して欲しい。エコー+マンモ、セットの検診を勧めて欲しい。
96	さらなる高度放射線治療装置の導入等最新医療の提供と新機器を扱う十分な知識と経験を持つ人材の確保。
97	ほんの少し金銭的に支援があればいいと思います
98	高額医療制度の認定が高く感じる。入院・通院・薬局それぞれ別に設定してあるが全ての合計にするべき（個室代・食事代も含めて）高額医療制度を使う為、上限を3回超えないと適応にならないのはハードルが高い
99	特定検診の項目にPSAを入れてほしい。前立腺ガンが増えているということを知らなかった。
100	ガンによって収入の減少があり、なおかつ治療費がかかるので、生活の維持に不安を感じる。何か助成金等の制度を望みます。
101	死亡率、費用の掛かる疾患の検査を、定期健診の項目に含めた方が、結果として医療費低減になるのではないかな？
102	病気になってからの経済支援がほしい。
103	ガン予防やガン検診の無料化の推進
104	県北部へも手厚い予算確保
105	高額医療費の請求に1人暮らしでは体調が悪い時もあり、窓口で持参も大変なので郵送とか無理なんではないかな？
106	医療で働く人にもっと良い待遇になるようにしてあげてほしい。ほんとうに大変な仕事なんで。
107	私達夫婦は、共働きであった為、金銭的には心配なかった。しかし、両親をかかえてでの生活では、十分でなかった。ましては、年金生活になってからは大変であった。今回のアンケートは、一度目の胃がんでの回答でした。2度目平成●●年大腸がんで退職後であり、金銭的にしんどかった。年金のあり方を考えてほしい。
108	私は、年金暮らしで仕事をしていませんが、なんとか治療費を払っています。若い人たちは治療と仕事の両立が難しい方が多いと聞いていますので、治療費の不安や生活の心配を軽減できる支援を充実させてほしいです。医師不足や看護師不足の解消をお願いします。
109	10月から後期高齢者健康保険、費用負担が1割から2割に増た。年金生活者には、増額はこたえる、すでに既得している人には適用せず、これから75才に成る人から徴収すべきである。
110	補助を充実し、患者の負担をへらしてほしい。
111	居住の地域のエリアに、拠点となる専門病院がないエリアもあると思います。患者難民をつくらないためにも、どうか行政のお力で、どのエリアに居住していても、ある一定の治療が受けられる体制づくりをお願いします。
112	がんと診断されたら、迷わずしっかりと治療を行う気持ちを準備できるように日頃からどう考えて決断していけばいいかの情報を周知してもらいたい。
113	症状悪化による緩和ケアの充実および介護支援への対応

自由記入欄

行政に対して

114	D rを増やし患者に十分対応できるようにD rの手当、教育につくしてほしい。人としての教育も必要だと思います。
115	治療費の補助
116	がん治療には大きな費用が掛かってきます。私は今、3週間に一度の抗がん剤治療中です。仕事は休職（病欠）→復職しましたが、フルタイム夜勤ありの看護師として働いていたのが、日勤のみ常勤になり、入院・通院などで欠勤する事もある為、手取りは半分程度に落ち込みました。現在は金銭面で、困窮する等はないですが、もし働けなくなり治療費や生活費に困る様な事があれば、迅速に対応して頂きたいと思っています。
117	生活保護世帯には、自動車はぜいたく品でなく必需品です。全てに認めるべきです。山奥、都会、偏りなくしてほしい。
118	ウィッグ（かつら）購入の補助については、市町村の違いで補助の有無があります。補助して頂けると助かるので滋賀県として全患者のウィッグ購入の補助を早急をお願いしたい。
119	医療用ウィッグの助成金が市町によって異なるため、県下統一して実施いただけるとありがたいです。30歳代は子宮頸がん検診以外のがん検診の対象とならないので、30歳代の早期発見やがん予防啓発について力を入れてほしいと思います。
120	在宅介護に対する情報を得たい時に入手できる体制をお願いしたい。（現在存在するのであれば入手方法のPR）
121	ガン予防：早期発見等対策を取り県民に実施してもらう
122	定期的な外来受診が必要であり、仕事は休み、受診料や薬代がかかる。年1回でもいいので主D rが必要と判断した検査等、無料で受診できるシステムがほしい。
123	ガン検診、誤診の無い様に。元加害者より
124	ガン患者に対して十分な支援をお願いします。
125	公報等での各家への伝達充実を望む。
126	情報提供の充実をお願いします。
127	もっと金銭面で協力してほしい。なかなか思うような抗がん剤が打てない（高い為）
128	がん予防体制（対策）の充実
129	治療費用補助の充実
130	いろんなサプリや治療があるが早く治せる薬をさがしてほしい。
131	病院にももっともっと行政から補助（？）などしていただいて病院がなくなるようなことがないようにお願いしたいです。
132	治療費高額のため、助成があると安心です。
133	アピアランスの支援について、県内市町村統一した内容で検討頂きたいです。
134	定期健康診察を受けて10ヶ月位でステージ4のがんが見つかりました。ガンが見つかったのも転移先の痛みがキッカケでした。定期健康診断の精度を上げて下さい。（AIを使って精度の向上を願います）
135	市長さんへ。●●と●●HPの統合やめて下さい。他の方法で何とかそれぞれが生き残れる様に考えてみて下さい。
136	自分から行政ではなく、色々なサポートがわからないので行政から連絡が欲しい。
137	がん検診を全ての人に幅広く行ってもらえる様に、働いている人には検診日にも給与が出るように特別措置を行ってほしい。がん検診で早期発見、早期治療を行える体制づくりをしてほしい。
138	県内の医療体制の充実をお願いします。
139	誰もが適切な治療、最良の治療が受けられるよう費用の心配もなく安心して治療できる支援がほしい。
140	いろいろな、がんについての予防策の発信
141	医療費の補助拡大。お金で治療をあきらめなければならないことだけは、なくしてほしいです。
142	生活を支える支援が十分に必要
143	気管切開で声も出ず、就労ができない状態で、障害者支援等があればうれしい。

自由記入欄

行政に対して

144	治療に関わって経済的な支援をぜひともお願いしたい。保険の活用を行ってもやはりまだまだ経済的な支援を必要としています。行政に支援していただければ心強く思います。
145	二人に一人のがん時代。もう少し検診も会社とかじゃなく個人的に安い金額で受けられるようにして欲しい。年齢が高くなると…という時代ではなく…
146	家族が遠方、もしくはいない人で介護保険もまだ使えない人への生活や通院のサポート体制。
147	保険のきかない薬を服用したいと思うが、高額医療制度を使っても年金生活者には負担が大きすぎる為、もう少し安い価格で提供してもらえると助かります。
148	高額な医療費 e t c 介護支援。癌を「特定疾患」の様に公費扱いにしてほしいです。高い抗癌剤の薬価をもっと下げるべきです。
149	公的ながん検診を2年に1度から毎年にする(なっていたらすみません)。県北部の医療の充実(南部へ長時間通っておられる方がいる)。経済的支援。
150	給料をもっと高水準にすると田舎なりにも有能な医師が来ると思う。(高れい化の為)
151	がんは、治癒する病気であることを、行政として国民に伝え、安心して日々生活ができることを指導してほしい
152	夫(●●才)私(●●才)夫婦2人共がんになり、●●年●月末から入退院を繰返し大変な思いをして毎日を生活しています。娘2人おりますが、1人は遠方に。それぞれが家族を持ち、まだ子供たちは中学生小学生●才と。共働きをしている娘に出来る範囲で助けてもらっています。退院すると週2回は通院。遠いのでタクシーを使うと片道6000円とともじゃないけど無理ですが困った時は使います。●月に娘家族がコロナになり、通院も買物も生活の手助もなく本当に困りました。かいごの申請や面接は受けましたが、何も具体的には進んでいません。●●市よ助けて下さい
153	自己負担限度額をくわしく説明してほしい。
154	早期発見、予防を含め、がん検診を若い世代から始めてください。
155	①医療機関の事務処理(伝票処理)にのみなっているようだ。もっと患者の治療経過にも着目し、病院の言いなりの事務処理部署になってはいけない。行政側も病院相当の力のある人材が必須。有効かつ適正判断(治療)がされているか…。②ガン治療には副作用等が伴うことが殆んどだ。副作用はその人の生活感や生活の質をも長期に渡り影響を与える。これら治療部位への負担だけではなく副作用にも患者は苦しむ。医者は治療部位に着目しがちであるが、副作用治療は長期となる事が多い。医療費の行政負担が増すことを思うと医者側に梃重である(患者に目を向ける事)べき事を伝えよう!
156	現在ホルモン治療中です。(毎月の投薬、月1回の注射、定期健診、検査)年間30万円×通院10年、費用が掛かります。←生存していれば。治療費を考えると仕事を辞めるわけにはいかず不安です。補助制度があれば助かります。
157	上の件に対して進めていってほしい。また行政としてできる働きも考えてほしい。このアンケートを生かしていただけるのであればありがたい。
158	今回の膀胱がんは、たまたま腰痛治療を行った際に発見され、初期ステージでの手術が受けられました。最近3カ年は人間ドックを受けておらず、定期的な検診の必要性和重要性を痛感しました。行政からも、がん予防PRと併せ、定期的な検診(人間ドック)のPRもお願いします。
159	派遣社員でも復職しやすい環境を作ってください。
160	これからも頑張ってください。お願いします。
161	滋賀県湖東、湖北地区の婦人科の腫瘍治療病院を充実してほしいです。
162	高額医療の更なる緩和
163	かかりつけ医を持つよう指導し集団健診と共に個人健診も充実すべきと思います。

自由記入欄

行政に対して

164	市のガン患者ウィッグ購入費補助金1万円について、抗ガン剤治療に伴い脱毛、医療用ウィッグは生活に欠かせない物となりました。仕事復帰する際にも髪にかかわる心の不安は大きく、実際自分にあつたある程度の金額の物を購入、洗いがえも必要となり2個購入しました。抗ガン剤治療で高額な医療費が必要となる中、もう少し補助金を増額していただくと助かります。仕事復帰について、入院やその後1年半近く続く抗ガン剤治療で、有給は使い果たし欠勤扱が続ききました。せめて抗ガン剤治療の日だけでも何らかの休暇制度ができると安心して治療に専念できるのですが…。
165	甲状腺がんが徐々に大きくなり今●●月に気管切開をして現在スピチカニューシ?を装着。自宅で吸引するため器具を買いましたが5万円ほどしました。身障にはならないので実費で買いましたが毎日3~4回は吸引しなくてはいけないので絶対に必要です。行政で少しでも負担していただければと思います。
166	がんは、治る病気ですと、知らせたい。癌と宣告されたら、もう手術も治療もしたくないから、癌検診は受けたくない人がたくさんいる。治療で、日常生活も取り戻せるという事、知ってほしい。
167	生活費の補助をお願いします。
168	若い世代のがん患者との交流の場が欲しい
169	仕事をしていると、身体の不調があってもなかなか休めず、仕事優先になってしまう。予防や健診をもっと誰もがあたり前に、簡単に行える日常になってほしいと感じる。
170	今回マンモグラフィーでひっかかりましたが、マンモグラフィーではわからないガンだったようなので、オプションでエコーがあるとか、できればよいなと思いました。(たまたまマンモでひっかかりましたが、別の場所でした。ひっかったために詳しく検査していただけたのでよかったのですが。)
171	経済的な支援、社会保障制度の充実。
172	今回●●ドックのエコーで乳がんを発見していただきました。しかし、マンモグラフィーでは「異常なし」の診断でした。病院でもエコー、マンモグラフィーの結果は同じでした。私の場合、エコー診断がなければわからなかったですし、マンモグラフィーでしか発見されなかった人もおられると思うので、両方の診断を同時にしていただくことが必要だと思います。又、市では乳がん、子宮がん検診は2年に1度となっていますが、1年後との検診の方が早期に発見でき、完治が早いのではないかと思います。
173	自分のように早期発見で助かる人もいるので健診等に力を入れてほしい
174	若い世代(働きざかり 学生)への支援
175	①がん患者に対する税法上の軽減措置②がん治療に対する医療者の補助
176	医療機関における医師の確保。機器の充実を望む。相談しやすい機関を望む。高齢者の病院への送り迎え特に独居者。
177	1、2年目のコロナ禍では、コロナコロナとそちらの心配ばかりで持病の治療が滞る方がいたという事。進行の早い乳がんを患っているので治療が遅れることの方が恐怖です。実弟がデルタ株の時コロナで重症化して死にかけました。軽症(ホテル療養)からの重症です。対応が不十分だったと聞いています。でも行政も大変だったという事は存じてます。今までの経験を生かして次同じような事態になった時の教訓にして下さい。
178	①政府の対策がいつも一歩遅れを感じ、もう少し先手の対策が必要かと思います。②日本は薬の開発に海外と比べれば随分遅れを感じました。人材を含め行政の支援が少ないのではないかと思います。③コロナの撲滅はむずかしいのだと思いますが、マスクの無い生活に早くもどりた。
179	個人事業主は傷病手当も受けられず切り崩す生活もやむをえないです。フリーランスにとって充実した医療対制になることは難しいかと思いますが、この先フリーランスが増えることで税収を見込めると考えられないのかなあと
180	行政が手を出す必要性はどこまでなのかと考える必要がある。最限のない所まではいらない。若者を中心に考えることであり、老人はもう終わった人である。介護なんていない。せめてデイサービスで十分すぎる。
181	今、がん保険、国民健康保険限度額適用認定証などを使い治療を続けてますが、働かないと生活できません。今は働いてますが、これが働けなくなり、収入もなくなれば医療も続けられないと思いました。貯金を使い切ったら終わりと思い、書かせてもらいました。自営業●●才
182	わかりません。
183	医療補正具購入費助成事業を知ったが、まわりに知らせたくなく行けなかった。

自由記入欄

行政に対して

184	書きたいことは山ほどあるが書いたところで変わらないでしょ??
185	税金の無駄使いをしない
186	異状なし
187	何ヶ月前に高額医療の事で役場の方へTELした時、電話口に出た女性の方とPET検査について話した時「犬のペットですか?」と言われてカチンときました。医療保険課に勤めているならばそれなりの知識をもった人に対応してもらいたい。
188	●●のナノeの発がん性についての調査。理系の学生、生徒、教育機関への支援、教育行政の充実、予算の確保、教師の増員
189	今回のこのアンケートで知人に話を聞いてみました。その事を書きます。WHOも世界一と称賛する日本の国民皆保険制度、高額療養費制度により、海外なら数百万もかかる治療を受ける事が出来ています。病気になりはじめて知る事、思う事(不安も含め)ばかりです。この先も病気でも「生きていける」日本であって欲しいです。

自由記入欄

コロナ禍における受診や治療などにおいて感じられたこと

自由記入欄に記入されたすべての意見を、原文のまま載せています。

(医療機関名、医療者や治療の時期などについては●●で伏せております。)

1	コロナ対策が十分におこなわれていたので安心して受診や治療が受けられた。
2	がんを告知されて2年程になりますが、その間コロナに罹患することなく、今も安心して治療を受けています。病院による安全対策のおかげだと思っています。
3	治療中にコロナにかかり家族全員（息子夫婦、二女）たいへんな時を過ごしました。まだ田舎の家だから主家とはなれに分かれて個室がつかえたのが良かった。皆が私のことを心配してくれてうれしかった。「おばあさんにうつしたらあかん」一生の宝ものの言葉です。
4	何事もきちっとされて良かった。
5	ほんとうにこころう様です。けんめいにやって下さってることに敬意を表します。
6	検査を受けた回数が増えるに従って、判定の速度が早くなってよかった。●●の治療判定の為に“コンテナ治療室”の増設はいいと思った。
7	感染者数が多い時はドキドキしながらの受診でしたが、なんとか治療が続けられたので良かったです。病院側も、いろいろ対策をしながら対応をしてくれているのがとても伝わりました。
8	面会等は出来ませんでしたがいたれりつくせりのかんごを受けられました。コロナ禍における病院スタッフに頭が下がります。
9	色々大変な中良くやって頂き感謝しています。
10	コロナ禍でも安心して治療が受けられたことに感謝しています。
11	コロナ禍での入院生活を経験しています。病院が適切な対応をとっていただくことで、患者は安心して入院や通院ができます。
12	基本的対処をしていれば、大丈夫ではないかと思えます。
13	感染者が増えてきた頃、病院に行くのが嫌でしたが（電車で距離もあった為）検査以外は普段は診察、投薬のみだったので、電話診療にして頂き、助かりました。
14	●●は対応がキチットとれていた。
15	私は妊娠中に乳がんになりました。コロナ禍だったので家族とも会えず約1、5ヶ月入院しました。入院前はただただ不安でしたが、病棟の看護スタッフさん達が親切に接して下さり話を聞いてくれ時々悲しくて泣いてましたが、基本的に前向きに強くいれました。感謝しています。発熱はあまりありませんでしたが副作用なのかコロナか判断が難しかったです。
16	このアンケートの対象者ではなく、別の家族をがんで亡くしました。コロナ禍の前年だったため、最後は緩和ケア病棟に入院し、とてもあたたかく看取りをお手伝いして頂きました。コロナ以後、度々緩和ケア病棟の閉鎖について聞きました。自分の家族が緩和ケアで過ごすことができ、ありがたかった思いが強いために、コロナ禍で終末期を看取られたであろう御家族のことを考えるととても胸が痛みました。簡単にどうにかして欲しい！と言えることでもないし、言ったところでどうにかなるものではありませんが、自分の家族の時を思い出したらためがんと向き合うことにふくざつな思いをもちました。
17	コロナ禍では病院は十分過ぎる程の対策をして来られて結果、良かったとは思いますが、この間入院している患者は家族の面会も制限され大変だったろうと察します。自分がその時入院していたらと思うと入院患者として心細かったろうと思います。
18	病院側からの（担当医師）ていねいな説明を受け納得できました。
19	感謝！しております
20	コロナ禍時の病院の予防態制が厳カクになり、患者の数が減り安心して通院が出来た。
21	多少不自由な事はあったが、コロナ禍では、しかたがない事と思う。
22	入院して面会が無いのが、困ったことで、その他はありません。コロナは本当に仕方無いと思います。

自由記入欄

コロナ禍における受診や治療などにおいて感じられたこと

23	コロナ禍の中でも、いつもと変わりなく診察や治療をしていただき、感謝しています。今後もよろしく願います。
24	コロナ禍においても、医療従事者の方がいてくださったので、安心して、受診や治療を受けることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。
25	大腸ガンで手術して1ヶ月入院しました●●/●●手術。コロナ禍の中で本人に会う事が出来なかったのですが医療にたずさわっておられる方に親切にして頂き本当にうれしかったです。
26	医師、看護師による適正な対応がしてもらえた
27	充分なる注意をしながら受診や治療しているので非常に良いと思います。
28	よく対応してくださっています、不安はありません。
29	今回のコロナ禍の中で長い入院期間がありました。家族との面会もできなくなってしまって淋しかったですけど仕方ないですね。病院のスタッフの方々もよく対策をされていて、がんばって下さっていました。退院してからのワクチン接種などが自分の体調のせいでうまく進まず少し困りました。
30	コロナ禍以前病院にお世話になることがなく、比較のような事はわかりませんが、特になにも感じませんでした。地域連携（←この制度もとてもいいなと思いました）の紹介もあり検査、診断、手術までとても早くして頂きました。もちろん病院としてのコロナ対策などはしっかりされていてそこは違うと思いました。
31	不安はありません
32	地域連けいの制度は大変良いと思っている。
33	母がコロナになり、●●にお世話になりましたが、至れり尽くせりだった、と申しておりました。滋賀県、●●市、fight!!
34	コロナ禍でも滞りなく治療できています
35	適切な処置を取っておられる
36	感染対策はできていた。
37	入院中、病院関係者の仕事量の多さにびっくりしました。感謝しかないです
38	医療従事者を含め関係各位のご尽力に感謝と敬意を表します
39	術後一時帰宅可能な体調だった数日間も世間がコロナのため退院できず続けて化学療法に入り、ウィッグ等準備できる時間がなく困った。今は分かれているが、白血球の下がった状態で次の入院のために、発熱でコロナの検査をうけにきた人と同じ場所で検査待ちをした時はこわかった。御自分たちや、御家族がコロナになり、人数のへった中でかわらず対応して下さった看護師さんたちに頭が下がった。
40	コロナ禍の時は抗ガン治療中でしたが、通っている病院で担当の医師、看護師のいるもとのコロナワクチンを接種してもらえたことは、本当に心身共に安心できてよかったと思う。
41	あまり感じなかった。ある程度は仕方がないことです。
42	呼吸の出来ない逆流性食道炎での緊急入院を、又、悪性リンパ腫とその都度検査、点滴と適切な処置のお陰で命拾い致しました。感謝致しております。
43	医療従事者は大変なお仕事です。感謝しかないです。ありがとう。
44	当方は特に、不便さは感じなかった
45	コロナ禍であっても支障なく受診や治療を受けられた事には感謝しております。
46	病院の入り口で発熱の状況を把握したり、手の消毒をきちんとできるようにしたり、その日の自己健康チェック（コロナ問診表）をしたり、と病院の中にコロナ菌を入れない努力をいただいていると思いました。
47	患者も大変だが病院のスタッフも大変だと思う。そのような中で治療をやっていただき感謝している。
48	ちょうどコロナが流行りだした年に、入院、治療をしたので入院時には家族に会えなくて気持ち的にも辛かった。ただ、抗がん剤治療をして免疫が落ちている時に、世間の人々が皆マスクをしていてくれるので、その点では感染の不安が軽減できたのはよかった。

自由記入欄

コロナ禍における受診や治療などにおいて感じられたこと

49	患まれた治療を受けられたのでよかった。受診によっては、コロナの検査などあり、時間がかかり、患者さんの負担になることもあるのではと感じた。
50	治療している時は、コロナが少しおちついていたので、良かったけど、またぶり返してきて自分自身すごく注意深くなった。家族などの手洗いなどがすごく気になった。病院に入る時に体温や質問をしてくれて安心できました。
51	コロナ禍でも治療して頂き感謝しています。とは言え、年老いた父の面会が難しく寝たきり→ボケルのではと不安になりました。
52	入院したのがコロナ禍ではなかったのですが、私は暖かい家族や友人のお見舞いととても元気をもらいました。今は、高齢者の入院は誰にも会えず、どんどんさみしさや不安から余計に力が落ち、回復できるものもできないように感じます。私の母も●●才ですが、何かあり入院したら最後かな…?!ととても不安な毎日です。元気を贈れる何かを考えていかないと…ですね。
53	病院に行くにはとても気をつけて行っている。たくさんの方が集まってくる所だしとても危険に感じる。マスク、消毒はもちろん毎回きっちりしているけど本当にだいじょうぶかと思う場面がいくつかある。たとえばしんさつ室の消毒とか、検査をうけるへやの消毒、へやのかんき、人が密になっていないかとか、たくさんの方が利用する場所はとても不安です。トイレ、コンビニが入っている所とか、たいへんだけど気をつけてほしい!
54	化学療法で免疫力が落ちているので他科の患者さんたちと同じ待合で診察を待つのがとても心配だった。
55	3週間おきに抗ガン剤治療で通院していますが高齢ですので気が重く感じました。
56	感染の不安はあった。
57	半年間の入院中、家族との面会ができなかった為、悩みや今後のことなどについて話をする機会がほとんどなく、LineやTelを通しての会話だけだったので不安をかかえていた時期があった。
58	コロナの濃厚接触者になり予定していた入院治療が延期になり、コロナに感染していないか、治療が遅れて大丈夫かと非常に不安な日々だった。
59	コロナでないのに発熱した時
60	大変でした。
61	コロナ禍の中の入院はほんとうに辛かった。面会禁止は仕方ない事だと思うけれど、理解しているけれどやっぱり辛かった、心細かった。もう少しなんとか知恵をしばって考えてもらえないものかと思った。
62	がんの手術、入院の際家族の立会い(面会)がなかったことは、仕方ないとは思っていても心細かったです。
63	何よりこわかったです。もしコロナにかかって治療がストップしたらどうしよう。手術できなかつたらどうしよう。不安で一杯でした。ワクチン接種はしていたものの、もしかかっていたら私だけでなく、他の方々にも迷惑がかかります。ガンの心配とコロナの心配、両方でとても苦しかったです。
64	長期入院時の面会の禁止は精神的につらいと感じた。
65	手術後の面会が制限されたのが辛かった
66	乳がん術後の放射線治療がコロナの感染拡大により、すぐに受けられなかった。手術前、コロナの影響で手術が延期になってたらどうしようと不安だった。(自分が感染したり、病院内で感染者が増えたりとか)
67	経過観察中ですが いつ再発するのか怖い(データをみて)
68	入院中の心のささえである家族と面会出来ない事がものすごくストレスでした。感染対策で仕方がないのは分かっていますが、つらかったです。
69	不便 不安
70	コロナが流行した時の治療であったため、病院内での感染リスクが高いのではないかと心配しました。
71	受診についてはいつもヒヤヒヤしながら行っています。
72	コロナ禍では受診の度に緊張が強いられ、また入院中も全く面会できず、淋しい思いもしました。(不便もありました) いたしかたないことはわかっていますが・・・。
73	一人の時間が多かったので、不安がありました。

自由記入欄

コロナ禍における受診や治療などにおいて感じられたこと

74	もし、コロナに感染したら、定期的な診察が受けられなくなる不安がある。毎月、血液検査をしているため。
75	病気をもって病院に行くのですからいつも不安のうちに通院しています。
76	病院の治療に不安
77	コロナ禍の最中に、がん手術をしました。家族の面会がなく、すごく不安でした。
78	入院した場合、患者と家族が自由に顔を合わせられなかったり、直接話ができないのは、少しさみしい。
79	家族との（病室への）面会もできなかったのはさびしかった。
80	家族や友人たちと面会が出来ない分、心に不安があった
81	家族の付添いに制限があること
82	コロナも3年すぎて毎日マスク手洗い消毒の日々も少しずつ当り前になってきてる一方、もういいやろう～という考え方の人もいるから…特に免疫力が低下している病人の方は余計に心配して受診するのか、おくれたり…するかもしれないと思うと本当にこわいです…。
83	入院の際（4ヶ月で7回）毎回検査をし、結果がでるまで待つので、仕方がないことだが、治療が夜中になることもありつらかった。感染症にかかれば大変なことになるとドキドキしていたにもかかわらず（特に7波で2～3000人滋賀ででていた時）、トラベル支援をしたり、いろいろとOKになっていくことがとてもこわく不安でいっぱいであった。家族の面会に制限があり、ダメになったこともあり仕方ないけれど手術の時一番不安だった。
84	入退院が短期的にできなく、家庭の状況がわからなかったことが不安です。
85	無症状のコロナ患者もいて、抗がん剤を受けて、免疫力が低下しているといふ感染するかと思うと不安になる。抗がん剤の外来治療室では肺がん患者さんもおられるのか、ひどい咳をされていると不安に思う時がある…。
86	面会が規制されており、入院中淋しかった。（不安な気持ちで過ごした
87	コロナに感染・重症化するのではないかをいう不安を感じた。ワクチンの副作用についてもとても不安に思う。またワクチンを接種しても抗体ができないことも考えられ感染しないように自分が注意するしかないのかと思う。
88	コロナ渦になってから入院していて家族と面会できなく電話のみの連絡応答であったので、ちょっと不安になった時もありました。
89	受診時、治療の待ち時間が長く、感染しないかと、心配です。通院時タクシーを利用しているのですが、高額になり援助はないのでしょうか？
90	コロナ禍になり、元々、顔をしっかりとみて診察して頂けない主治医ですが、それがもっと酷くなり、顔はみない、触れない、●年も通院しているのに、覚えてもらっていない。患者さんが多いのは分かりますが、流れ作業の用に思います。首に放射線を当てましたが、今、首の状態が悪くなく、副作用後遺症について、もっと詳しく教えてもらってよかったですか、と思います。
91	術後苦しいのに～マスクは、しかたないけど、コロナ禍でなければすごしやすかっただろうに
92	受診や治療に関しては病院の規則や最低限のマナーを守るしかないですが、入院している間に家族と面会出来ないのが少し苦痛でした。顔を見るだけでお互い安心ですし、又、治療を頑張ろうという気持ちになれたかと思いました。
93	入院中、面会制限があり気分転換はスマホだった。コロナに感染し、治療が休薬となり後遺症もありT S I治療は中止した。感染予防にも限界があり、外出をさけ他人との交流を閉ざすことでストレスはマックス。人と会えないのはやはりつらかったです。
94	1. 入院病院での面会謝絶で家族等も不可能であったのは非常に残念だった。
95	他の病院に比べて、コロナ対応が不十分 体温の計測…フリーで出入可能（自由）チェック体制の充実
96	家族も病室に入れないのは不安や心配があった為、もう少し考えてもらいたい。
97	入院中、コロナ禍で家族との面会ができなかったことが、精神的にとつらかったです。
98	家族のつきそいがいる（幼児、子供、障害者等）家庭の負担が大きいです。特に入院の際不安や不便を感じます。
99	入院中の面会者等がきびし過ぎる。

自由記入欄

コロナ禍における受診や治療などにおいて感じられたこと

100	副作用の為に口腔外科も受診しています。アスリールというがい薬が3本から1本になり不便でした。
101	入院時、家族が病院に行くことが出来なかった。本当につらかった。
102	病室に家族や友人が入れないのがさみしい。
103	入院中、コロナで面会禁止だったので辛かった。家族に会いたかった。
104	入院中の面会出来ないのは心配でした。
105	コロナの中入院中に家族にあえないのがつらい
106	面会が出来なかった。外出も。
107	通院・病院内での不便さ
108	院内にはガン相談支援センターがありますが、コロナ禍の影響であまり活用されておらず残念でした。
109	緩和ケアにお世話になり入院となった時、コロナのせいで面会出来ないという現実、充実した最期を迎えさせてあげられない。
110	検査待ち時間が長すぎる。移動が大変。
111	家族の面会が入院中でできないこともあり、治療方針を自分だけで決めないといけないう孤独感があった。
112	副作用で38℃近い高熱がでるか、その都度通院毎ごとにPCR検査を受けるのは不便だ。
113	中々通院もしにくい状況
114	熱がある時に受診すると治療までとにかく時間と手間がかかりしんどいのに長時間待たされるのには閉口しました。
115	コロナ禍の影響で患者会の開催が行えていないことは非常に残念に思います。感染対策を講じた上で再開できることを切に願います。特にAYA世代の方への支援充実に尽力頂きたいと思います。
116	入院中家族に会えないのがつらかった。
117	入院のたびにPCRや抗体検査がめんどろでした
118	患者が高齢のため、携帯電話も使えず公衆電話もかけられなかったので連絡が取れず困りました。
119	コロナ前より家族に寄り添える入院生活ができないのが辛く感じました。病棟に子供が入れないため、じいじ（患者）が孫に長く会えない状況は、病気の人の心の栄養をうばっているようで、かわいそうでした。（今は自宅療養してますが）
120	受診・治療に大きな支障はなかったと思いますが、患者会や交流会がコロナの為活動休止がほとんどで、一番悩んでいた時に、対面のコンタクトがとれず心細い思いをしました。YouTubeで発信されている個人的な経験を頼りにするしかなかったので、コロナの不運さを痛感しました。
121	がん患者だからといって、コロナになっても全く、何も他と変わらなかった。ドクター（担当医）からも何もなかった。それと、国の指示されたことを通されているのが、がん患者以外に、ぜん息の治りようをうけているものが、コロナにかかっている間は、入院させてもらえてないと「レントゲン」さえもうつしてもらえない ●●オの父がいつなるかも分からないのに。通院では、レントゲンすらもうつしてもらえず、不安な日を送った。（年をとった人が、熱も出ずに肺がうっ白というのはきくので）せめてしんさつしてほしかった
122	家族がコロナになった時、連休中のため、どうすればいいのかわかなくて県に連絡。熱だけなら解毒剤飲んで休んでいて下さい。え？それだけ？多分対応が大変何だと思いが、とても不安だった。
123	コロナ禍で家族との面会が禁止だったので何かと不自由だった。
124	面会がないのが精神的に辛い
125	入院中の面会の制限が厳しかったので手術後の経過を知るのが困難に感じました。
126	家族と会いたかった
127	面会ができないこと。テレビ電話で対応していた

自由記入欄

コロナ禍における受診や治療などにおいて感じられたこと

128	手術などで体がつらい状況のとき、心の支えになる家族の面会が許されないことが回復を遅らせたり心を病む原因になるのではないのでしょうか。感染対策ということも理解できますが患者さんが一人で戦うには限界がある
129	家族、友人、知人の面会禁止はやむを得ないと思うが特殊な面会可能な部屋があれば良いと思う（但し費用面で困難でしょうか）
130	退院が早まったため、自宅療養中の食事に関する注意事項説明や、食事の作り方のコツなど、栄養師さんからの説明が充分でなく『家族がどうして良いか分からない！』と困っていた。もう少し詳しい説明の病院からの提供が欲しかった。（本人、家族ともに。）
131	当面●●病院一括で引き受けていただきたい。
132	入院手術に関して、家族の不安や心配は小児であろうと大人であろうと変わらないと思います。よりそってあげたいときにどうすれば？というのは課題だと思います。
133	ガン早期発見のための対策
134	過去、定期検査指定日（3カ月～半年毎）が、コロナの状況で何度か変更をお願いした事がありますが（変更可能であった）この様な時は受診者から問い合わせるのではなく病院側から各受診者毎に情報提供があれば助かりますが…病院のネット情報だけでは細い部分は判りずらいので受診者に合った情報が欲しいです。
135	今回私は入院が10日程でしたが（前立腺癌）やっぱり家族との時間が有れば元気が頂けたのではないかと思います。無理だとは思いますが
136	本人や家族がコロナにかかったら、ガンの治療がストップしてしまうことを早く改善してほしい。ずい分行動を制限し、コロナ対策を徹底している。体調は良くてもコロナが原因で十分楽しめない生活になってしまっている。これで寿命がきてしまったら、治療がストップしたらと思うとやり切れない。
137	入院中面会が行なえず、本人の不安が大きく精神的に不安定になった。個室などでは可能な限り付添いができる状況になっていればよかったと思う。
138	がんになり、急な入院生活の中、家族と面会出来ない事が一番のストレスです。患者の命は一日一日が大切です。コロナなど感染症のおそろしさも十分理解できますが、もう少し患者と家族の時間が持てるようにしていただけるといいなと思います。
139	看護師における労働の軽減の強化及び支援対策（常に入院においては当事者以外の来院を控える）
140	コロナ受診・治療・入院ばかりが優先されてしまい、がん治療・手術が後回しにされてしまうことがあるように思います。ワクチン接種をしたかしていないかも、アレルギーや体力の関係でできない、しない患者もいます。ワクチンしていないと治療が後回しにされることは絶対なくして欲しいです。
141	がんの治療中、病院の入院中にコロナにかかりました。明日が退院という日にその後10日間の入院。本当につらいものでした。もう少し病院の方で細心の注意を払って欲しかった。
142	早く普通にもどってほしいと願います。
143	院内図書室が途中から再開となり、気晴らしや情報収集に大変役立ちました。できれば、フリーのワイファイがあると映画を見たり、DVDの視聴機器の貸し出しがあるといいなと思っていました。
144	放射線治療…周辺の脱毛はする場合は細かく伝えて…
145	家族の見舞を入院中に受けたい。
146	コロナ感染予防でやむを得ず…とは思いましたが、入院中に面会不可で、差入時に顔をみることも不可だったのは、がんの辛い治療中において、家族と会えないのが大変ストレスでした。前向きな気持ちや笑顔が、がんの治療に大事なものの1つだと思いますので、いろいろ工夫しながら治療が受けられるようになればと思います。
147	高齢になってからの難病の罹患は心の痛みが大きい。この時期、家族と会う事が出来ない入院生活になると、病院スタッフでは拭い切れない落ち込みが発生する。コロナ禍を防ぎ、これを解決する手だてではないものか。
148	免疫力が低下している時はコロナ感染の危険性も高まるので院内は今後も感染対策を重視して継続してほしいと思っています。
149	社会がWithコロナに向けて進んでいる中、病院も、面会再会などコロナとの共生を検討してほしい。

自由記入欄

コロナ禍における受診や治療などにおいて感じられたこと

150	待合室のイスが1個とびで隣合わせにならないように気を使っておられるのはいいのですが、おかげで座れない患者さんがいることを知ってほしい。
151	コロナで受診びかえや治療びかえがすまないよう、配慮してほしい
152	がんは急を要するようなものではないですが、患者の気持ちとしてはすぐに手術、治療してほしいと思うものです。それがコロナによって抑制されてしまう事はがん患者にとって苦痛だと思います。また家族と会う時間（入院時）がもてないのも苦痛だと思います。早くコロナに対する対策をして欲しいです。
153	副作用による高熱である事があきらかなのに一般のコロナ対応で受診しなければならず苦しい時もコロナ検査結果が出るまで長時間待たされる事が何度もあった。一般と検査を分けて欲しいと思った。
154	感染対策は必要だと思う。市単位で対応策を考えた方がいいと思う。
155	病院内ではマスク着用が続くといいなと思います。
156	コロナ検査を入院前のじっしをしてほしい。
157	退院後の通院治療・自宅での生活における留意点などコロナ禍においてはより詳細に、充実させていくことが重要ではないかと思います。
158	肺ガン患者と一般患者の健診、治療態勢の区分
159	町の医師が全員参加で「何時でも何処でもワクチン接種」
160	コロナ、がん患者を白い目で見ないでほしい。
161	コロナかなと思った時、どういう順序で受診や相談をしたらよいか、いろんな手順がその症例によってあると思うが具体的な例を、症例に合わせて新聞等で発信してほしい。テレビは見てても、すぐに消えて行き、覚えきれない。新聞や「冊子」であれば、よく読めば対応できる。
162	止むをえない部分はあるものの、コロナ禍において受診や治療面で（手術の延期、病床の減少等）影響が出ています。できれば感染症専門病院（病棟）を設置して頂ければありがたいと思います。厳しい財政状況下の中ではありますがどうぞよろしくお願い申し上げます。
163	P C R検査は入院時だけでなく、退院前にも実施するべきだと思いました。
164	がんという病気だけでも大変なのに、コロナも加わり家族共面会出来ず部屋から出る事もままならず。気分が毎日落ち込みます。このアンケートが少しでも患者さんの役に立ちます様に。ただのアンケートで終る事なく次の何かに続きますようにお願いします。
165	抗がん剤治療を受ける時に患者以外の付き添いは特別な事情のある人以外は入室を禁止してほしい。感染対策もあるが治療中に医療関係者以外の身内や友人との会話は患者にとってストレスになります。
166	高齢者にとっては集団接種の実施はしんどいと思い、個人接種又は地域別接種の方向が望ましいと感じます。
167	病院における感染対策の充実には行政とともに配慮していただければと存じます
168	コロナで面会禁止は理解できるがこれからの時代入院にW I - F I は必須だと思う。そのために県や市から補助等をしてほしいのでは？と思う。（ほとんどの人にとってスマホが必須だから）
169	①基礎疾患を持つ患者の受診方法を一定配慮してほしい
170	高齢なので付き添い（家族がいるから）して欲しいのを辛抱して毎月一人で通院している。少し数字が下がるとホットするし、自分で守らないと思ひ頑張っている。
171	どうしようもない。ウイルスと共存している限りのがれられないこと。コロナで死か病気で死をえらぶのかの違い
172	入院時の付き添いは出来ない事は仕方ないと思います。少しづつ
173	高齢の母の場合、外に出してあげることができず、家の中にずっといるので気分転換ができない。外に出る介護者が十分にそばについてあげることができず（感染をけいはい）不安のうったえがあった。終末期の病院では（入院）限られた時間しか面会できず最後も間に合わなかった。
174	通常と変わらない診察光景だと思います（コロナ対策は勿論のことですが）

自由記入欄

コロナ禍における受診や治療などにおいて感じられたこと

175	●月入院予定でしたが●月●●日に●●で朝8時半に入り平熱で、午後13:00に40℃の高熱がでてPCR検査で陰性で家に帰りましたが、高熱が続きGICTを●●日に取る予定でしたので、●月●●日PCR検査で陽性とどましたので、入院予定を変更し家で養生していたが、たべものに苦労しました。
176	かかりつけ医院を持つ事が大事だなと思う。
177	コロナに感染しないようにと注意していた。
178	もう3年になり習慣化しているのでcovid19について気にならなかった。
179	問題は無かった
180	コロナ禍で受診をひかえていました。いかに早期に発見できるか受診の大切さを感じました。
181	初めての治療開始の折、コロナ患者の入院あり、早目の退院となった。初めての治療の経過が解らず、自宅で発熱しないかと心配したが、お陰様で大丈夫で安心した。度々の外来診療も、待ち時間長く疲れるが、自宅療養は、ゆっくりと気がねなく過せます。以来、外来治療を続けています。
182	手洗い、うがい、消毒、マスクをしっかりと実行して多少不便を感じましたが、感染せず今日まで来ました。
183	病院がガラガラ 受診ひかえ？
184	異状なし
185	元々肺癌の為、症状がコロナと似ており、買い物もままならず籠りがちな日々を送ってきました。人生終りに近づき、こんなに他人様に気遣いながら、自宅療養する病気との戦いです。外出はほぼ皆無で足腰も当然衰えてきました。残念な事です。
186	●●病院でのクラスター発生の為、受診日に主治医が休診していて、入院予定日がずれたり、呼吸器病棟以外での受け入れになったりなどがありましたが、自身の治療には大きな影響なく治療を続けられています。
187	体温、手の消毒、マスクをプラスして、今まで通り受診してました。私の回りで（知るかぎり）感染した人は、いませんでした。
188	病院へ行くのがこわい
189	診断から手術（治療）までの期間が長かかったと感じられた。
190	自分で注意しながら生活していた。目に見えるウィルスでない為、しかたない、どこでうつるかわからないのでコロナになった時は大変だった。入院も出来ず自宅で寝ていた。夜間に病院へ行ったが、なかなかみてもらえず医師からは熱が出たら「すぐに病院へ」と言われていたのに入院出来ず大変だった。しかし、皆がそうでありしかたない
191	コロナがそんなに恐くないと思う。訳の判らぬ注意、ワクチン接種、必要以上に有った。マスク1つの使用方法でも何時までも決まらない。
192	コロナがあり、検診の結果後の診察を後回しにしているガンがステージⅡまでいってしまいました。コロナ（流行、ウィルス性）の病気がはやったときでも、そういう病気と通常の病気、検診と対応する病院をはっきりと、きっちりと区別するようにしたほうが良いと感じました。
193	清潔にすることの大切さを痛感しました。コロナ対策のおかげで、感染症にはかからない日々をすごしています。癌にはウィルスも勝てない?! 逃げて行ったのかもしれませんが。
194	希望が欲しい。
195	コロナ禍においても、検診を受ける大切さを痛感しています。
196	一度もコロナ接種には行ってはおりませんが、病院での抗原検査ではいつも(-)で入院可能でした。免疫力の低下が見られる治療療養時でも問題なく元気に過ごせておりました。
197	面会が出来ないと考えると寂しすぎて入院をちゅうちょしてしまう。
198	本人がコロナの取組みについて注意して受診治療することが大事である
199	コロナ禍では病院も行けないし、家でじっとしている。もちろんマスク着用。
200	一日も早くコロナが治まり普通に面会が出来る様になってほしい
201	未曾有の事態に陥ったことから治療に通院するのがこわくなった

自由記入欄

コロナ禍における受診や治療などにおいて感じられたこと

202	コロナ接種の場所や接種日の決定に苦労した。大勢が対象であるのでやむえないかもしれないが別の通知の方法を考えてほしい。マスク手の消毒対面の基本が大事ではいいのか。身近に検査薬を手に入れるようになっていいるのか
-----	---

滋賀県がん患者団体連絡協議会 設立：2008年（平成20年）

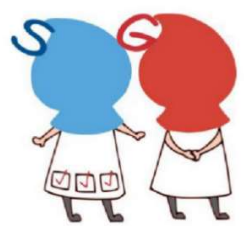


2007年(平成19年)4月施行の「がん対策基本法」の基本方針として、がん患者を含めた国民の視点に立ったがん対策の実施が謳われています。県内のがん患者、その家族、遺族の声を行政や医療現場に届ける為には、県内で活動している患者団体が一つにまとまる必要があると感じ、県下で活動しているがん患者団体3団体が「滋賀県がん患者団体連絡協議会」を発足させました。

現在は団体会員5団体と個人会員、賛助会員で活動しています。

HP(がんとともに生きるあなたへ)※2023年4月名称変更

<https://www.cancer-patients.shiga.jp/>



調査実施集計作業者

滋賀県がん患者団体連絡協議会

菊井 津多子

柳田 英代

八木 政廣

岩本 香奈

塩飽 孝子

滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課

藤田 恭子

滋賀医科大学社会学講座衛生学部門

准特任教授 北原 照代

びわこリハビリテーション専門職大学

教授 埴田 和史